

幼児教育学科教育課程

(令和5年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に 必要な単位数			備考			
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用				
						前期 必	後期 選	前期 必	後期 選							
教 養 科 目	日本国憲法	講	2		(彼谷)				2			2	2			
	国際情勢	講		2	(池田)						2			A		
	自然と人間	講		2	(岩坪)						2	1	1	B		
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員	1								C		
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員	1										
	国語表現	講	2		(奥野)		2					2	2			
	コミュニケーションと情報	講	2		吉牟田	2						2	2			
	人間と情報	講	2		春名	2										
	英語Ⅰ	演	1		望月 (ディヴィッド・ホースリー)		2					1	1			
	英語Ⅱ	演	1		望月 (シェリー・スキャンラン)			2				1	1			
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	望月											
	運動と健康	講	1		(大門)	1						2	1			
	健康スポーツ	実技	1		塩見	2							1			
基礎演習	演習	1		四杉(専任教員全員)	2											
計			13	8		9	2	4	0	4	0	0	4	11	11	
専 門 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保育の心理学	講	2		石動	2					2	2	2		
		教育の心理学	講	2		四杉	2					2	2	2		
		子ども家庭福祉	講	2		明柴	2					2	2	2		
		社会福祉	講	2		(村上)		2				2	2	2		
		保育者論	講	2		明柴・望月					2	2	2			
		子ども家庭支援論	講		2	石動						2		2		
		社会的養護Ⅰ	講	2		明柴		2				2	2			
	保育の対象の理解に関する科目	子どもと社会	講	1		四杉					1	1	1			
		保育の心理学	講	2		嶋野	2					2	2			
		子ども家庭支援の心理学	講	2		嶋野		2					2			
		子どもの保健	講	2		松居	2					2	2			
		子どもの健康と安全	演		1	松居			2				1			
		教育相談	演		1	嶋野					2	1	1			
		子どもの食と栄養Ⅰ	演	1		(大掛)	2					1	1			
	保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養Ⅱ	演		1	(大掛)			2			1	1			
		子どもの理解と援助	演		1	嶋野				2		1	1			
		教育課程論	講	2		石動		2				2	2			
		保育内容総論	演		1	日光			2			1	1			
		子どもと健康	演	1		塩見				2		1	1			
		保育内容(健康)指導法	演		1	塩見					2	1	1			
		子どもと人間関係	演	1		石動				2		1	1			
		子どもと環境	演	1		(長尾)					2	1	1			
		子どもと言葉	演	1		日光		2				1	1			
		保育内容(言葉)指導法	演		1	日光				2		1	1			
		子どもと音楽表現	演	1		難波		2				1	1			
		保育内容(音楽表現)指導法	演		1	難波・(大村)				2		1	1			
		子どもと造形表現	演	1		中山			2			1	1			
保育内容(造形表現)指導法	演		1	中山				2		1	1					
子どもと遊び	演	1		中山・石動・日光 難波・塩見					2	1	1					
保育の内容・方法に関する科目	子育て支援	演		1	明柴					1		1				
	乳児保育Ⅰ	講		2	石動・松居	2						2				
	乳児保育Ⅱ	演		1	石動			2				1				
	特別支援論Ⅰ	演	1		明柴・(河崎)		2				1	1				
	特別支援論Ⅱ	演	1		嶋野・(北川)				2		1	1				
	社会的養護Ⅱ	演		1	明柴				2			1				
	教育方法論	講		2	四杉						2	2	2			

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に 必要な単位数			備考		
			必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	主 事 任 用 社 会 福 祉			
						前 期		後 期		前 期		後 期							
						必 選	選	必 選	選	必 選	選	必 選	選						
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音楽表現技術Ⅰ	演	1	難波(大村・ 大林・玉井・櫻井)	2								1	1				
		音楽表現技術Ⅱ	演	1	難波(大村・ 大林・玉井・櫻井)			2						1	1				
		音楽表現特講	演		1	難波 (大村・大林)							2						
		造形表現技術Ⅰ	演	1		中山	2							1	1				
		造形表現技術Ⅱ	演	1		中山						2		1	1				
		子どもの運動	演	1		塩見			2					1	1				
	保 育 実 習	教育実習Ⅰ	実		2	難波・石動・松居 嶋野・四杉		5※						2			※	学内幼稚園実習	
		教育実習Ⅱ	実		2	嶋野・松居					※			2			※	学外幼稚園実習	
		教育実習指導	実		1	専任教員全員					1	1	1					「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定	
		保育実習Ⅰ-1	実		2	日光・中山					※				2			※	保育所実習
		保育実習Ⅰ-2	実		2	明柴・塩見					※				2			※	施設実習
		保育実習指導Ⅰ	演		2	専任教員全員		2	2						2				「保育実習Ⅰ」終了後に認定
		保育実習Ⅱ	実		2	中山・日光					※				2				D ※ 保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定
		保育実習指導Ⅱ	演		1	中山・日光					2※				1				
		保育実習Ⅲ	実		2	塩見・明柴					※				2				D' ※ 施設実習 「保育実習Ⅲ」終了後に認定
保育実習指導Ⅲ	演		1	塩見・明柴					2※				1						
総合演習	保育・教職実践演習	演		2	明柴・嶋野 四杉・日光							2	2	2					
総合演習	総合演習	演		2	専任教員全員					2	2	2	2				通年		
計			39	38		16	7	22	8	6	17	9	17	53	70	8			
総計			50	46		25	9	25	8	10	17	9	21	64	81	8			

〔注〕1. 上記教養科目のA, B, C, 3科目の中から1科目以上(計1科目1単位以上)を選択するものとする。

〔注〕2. 保育士資格取得希望者はD・D' いずれか1科目を履修すること。

〔注〕3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。

なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育者論 子どもと社会					
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史の変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状に関心をもち、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か - 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。 選択してみましょう	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容を教科書第1章で確認する。 思想家の言葉から、保育とは何かを改めて考えてくる。 保育とは何か	60分
第2回	保育とは何か - 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】指定された教科書の部分を読む	20分
	【復習】来週に向けて、!や?の出来事を考えておく(来週の授業で書いてもらいます)	60分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	20分
	【復習】課題シートを完成する。	80分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】前回の内容を振り返っておく	30分
	【復習】教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解する。	100分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読む	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。	100分
第6回	発達観の理解 保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。	30分
	【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 課題1(自分で学習しておく、提出不要、小テストで確認します)プリント	40分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を再確認する。	40分
	【復習】第7回の課題シートを書く	50分
第8回	保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】課題プリントを来週の授業までに完成させておく。	60分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴	
	【予習】教科書第3章を読む。	40分
	【復習】課題プリントを完成する。	150分
第10回	新しい保育制度を知る 子ども子育て支援制度の概要	
	【予習】教科書の指定部分を読む。	30分
	【復習】課題プリントを完成する。	120分

第11回	保育内容を考える	
	【予習】小テストの準備をする	40分
	【復習】小テストの内容の振り返りをしておく	120分
第12回	保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想	
	【予習】テキスト第5、6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。時間があれば第14章 p 193～を読む	60分
第13回	保育の歴史と思想3 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える フレーベルほか	
	【予習】資料を読んでおく。	60分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。	180分
第14回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】小テストの準備をする	80分
	【復習】小テストの内容を再確認しておく。	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	120分
	【復習】試験の準備をする。	160分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	保育の制度や内容についての基本的用語を十分に理解し、保育の意義について説明できる。筆記試験での正答率が90%以上。	保育の制度や内容についての基本的用語を理解し、保育の意義を説明できる。筆記試験での正答率が80%以上90%未満	保育の制度や内容についての基本的用語をほぼ理解し、保育の意義を説明できる。筆記試験での正答率が60%以上80%未満	保育の制度や内容についての理解が不十分で、保育の意義を十分に説明できない。筆記試験の正答率が40%以上60%未満	保育の制度や内容についての理解が乏しい。筆記試験の正答率が40%未満
LO-2	保育事例を、保育の基本的視点に沿って十分に読み取り、考察も的確である。	保育事例を保育の基本的視点に沿って、読み取ることができる。	保育事例を保育の基本的視点に沿ってとらえているが、読み取りが不十分である。	保育の基本的視点を理解しているが、事例の読み取りに活用することができていない。	保育の基本的視点が理解できておらず、事例の読み取りに活用されていない。
LO-3	保育の基本理念をもとに、自らの保育観や子ども観について、深く考察している。	保育の基本理念をもとに、自らの保育観や子ども観について考察している。	自らの保育観や子ども観について考えをめぐらせているが、保育の基本理念との関連付けが十分でない。	自らの保育観や子ども観について考えをめぐらせているが、保育の基本理念と全く関連付けられていない。	自らの保育観や子ども観について考えようとする態度がみられない。
LO-4	保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自らの考えを構築している。	保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、考えようとしている。	保育の現状把握は不十分であるが、社会のニーズを踏まえた保育のあり方・課題と関連づけてとらえようとしている。	保育の現状を把握し、保育のあり方を自ら考えようとする姿勢が不十分である。	保育の現状を把握しようとする態度がみられない。
LO-5	自らの保育観や子ども観を積極的に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に十分反映させている。	自らの保育観や子ども観を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させようとする。	自らの保育観や子ども観を他者に表明しているが、他者の意見を自らの意見に反映させようとする態度がない。	他者の保育観や子ども観についての意見に耳を傾けるが、自らの意見を表明しない。	自らの保育観や子ども観について表明することはなく、他者の意見に耳を傾ける態度もない。

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	子どもと社会						
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようにすることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aはミニツツペーパーによる。 ・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツツペーパー、小レポート等を収めること。 ・レポート等に剽窃が確認できる場合は単位を不可とする。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。	
	【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。	45分
	【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート）。	45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。	
	【予習】第1章を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。	
	【予習】第2章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第4回	教育の思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。	
	【予習】第3章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第5回	教育の制度 教育を取り巻く教育制度および教育法規を概説する。なかでも、教育制度の原則である教育を受ける権利、教育の機会均等を理解する。	
	【予習】第4章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。	
	【予習】第5章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。	
	【予習】第6章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性和、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。	
	【予習】第7章を通読のこと	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと	90分
第9回	障害児教育の思想と歴史 障害と教育について概説し、いわゆる通常学校での教育の相対化と、教育の基本理念の重要性を理解する。院内学級での教育に触れることで、教育の場としての学校の意味についての再考を促す。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第10回	障害児教育の実践と展開 障害児教育実践の記録に基づいたディスカッションによって、働きかけとしての教育の多様性を理解する。三木裕和の教育実践記録についてのディスカッションをおこなう。ディスカッションを通して、教育の捉え方、着眼点等が異なることを体感してもらう。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションを踏まえて、障害と教育についてレポートを課す（小レポート）。	90分

第11回	幼児教育の思想と歴史 教育実践記録の意義について、主に子ども理解の観点から概説する。保育者として教育実践記録（保育実践記録）を読むこと、書くことの重要性を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	幼児教育の実践と展開 教育実践記録についてグループ別ディスカッションをおこなう。教育実践記録を集団で読み合うことの意義を理解し、保育者として集団の重要性を認識する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	現代社会と保育者 保育者に求められることと、教師に求められることの異同を理解し、自身の保育者像について考える。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	教育と児童福祉の目的と目標 教育と児童福祉との関連について理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	現代教育の課題 講義のまとめを行い、自身の教育観について再考する。最終レポート草稿を持ち寄って、グループで検討会をおこなう。	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解することができた。	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解しようとしたことができた。	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得できた。	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得しようと試みることができた。	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得しようとしたことが困難であった。
LO-2					
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解することができた。	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解しようとしたことができた。	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得できた。	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得しようと試みることができた。	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得しようと試みることが困難であった。
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができた。	他者と議論を試みたうえで、自身の教育観を捉え直すことができた。	自身の教育観を捉え直すことができた。	自身の教育観を捉え直すことができた。	自身の教育観を捉え直すことが困難であった。
LO-5					

授業科目名	子ども家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉		後継科目	社会的養護					
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹編著ほか『児童・家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。また、ディスカッションにより否定しない、多様性を尊重したやりとりをめ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項を十分理解し、主な施策分野毎の現状と課題を的確に説明できる。	児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明できる。	児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項をほぼ理解し、主な施策分野毎の現状と課題をある程度説明できる。	児童家庭福祉の理念や制度についての理解が不十分で、主な施策分野毎の現状と課題を十分には説明できない。	児童家庭福祉の理念や制度についての理解が乏しい。
LO-2	児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を理解し、説明することができる	児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を理解している	児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)をある程度理解している	児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を理解が不十分	児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を理解が乏しい
LO-3	児童家庭福祉の動向や展望を十分踏まえ、問題解決のための方策について深く考察している。	児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について考察している。	児童家庭福祉の動向や展望をある程度踏まえ、問題解決のための方策についてある程度考察している。	児童家庭福祉の動向や展望の把握が不十分で、問題解決のための方策についての考察が十分でない。	児童家庭福祉の動向や展望をふまえて問題解決のための方策を考察しようとする姿勢がみられない。
LO-4	児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて積極的に努力しようとする意欲を有する。	児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする意欲を有する。	児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障に関心を持ち、消極的ではあるが、自らもその実現に向けて努力しようとする。	児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障への関心はあるが、その実現への関与は受動的である。	児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障への関心に乏しく、その実現に関与しようとする姿勢はない。
LO-5	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を十分適切に主張することができる。課題解決のために他者と協働することが十分にできる。	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために他者と協働できる。	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を主張することができる。課題解決のために他者と協働しようとする。	他者の意見を尊重しながら、自己の意見を主張することができる程度である。課題解決のための他者との協働は十分でない。	他者の意見に耳を傾ける姿勢に乏しく、自己の意見の表明も不十分かつ独善的。課題解決のために他者と協働しようとする姿勢がない。

授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、学生が社会的養護の機能と役割について理解できるように指導を								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉		後継科目	子ども家庭支援論					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「子ども家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護・養育 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親 小規模化 地域分散化 高機能化								
テキスト・ 参考書等	テキスト：辰己隆・波田埜英治編『保育士をめざす人の社会的養護』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】 社会的養護の対象に向けた援助の技能について理解している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書・小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。実習に向けた調べ学習を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキストを読み、社会的養護の意義について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、視点について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章 <まとめてみよう>	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護 子どもと家庭を取り巻く環境 / 児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ）」	
	【予習】児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 日本における社会的養護の歴史 / 欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / 子ども観の変遷	
	【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護	
	【予習】 児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう>	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 社会的養護に関する法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 施設養護 / 家庭養護 / 相談機関と支援体制	
	【予習】 社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 <まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 施設養護とは（基本原理） / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1)：児童養護系施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設	
	【予習】児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その1 ~肢体不自由児・重症心身障害児~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その2 ~知的障害児~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援	
	【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3)：治療・行動系施設 情緒障害児短期治療施設 / 児童自立支援施設	
	【予習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 里親制度 / 養子縁組 / ファミリーホーム	
	【予習】里親養育の基本原則と実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう> 幼少期の記憶について	90分
第14回	社会的養護にかかわる専門職 / 社会的養護にかかわる専門機関	
	【予習】社会的養護とソーシャルワークについて、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 社会的養護の施策の動向 / 社会的養護の課題	
	【予習】社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	社会的養護の基本的事項を十分理解するとともに、施設養護における保育士の役割についてよく理解している。	社会的養護の基本的事項や施設養護における保育士の役割について理解している。	社会的養護の基本的事項や施設養護における保育士の役割についてある程度理解している。	社会的養護の基本的事項や施設養護における保育士の役割についての理解が不十分。	社会的養護の基本的事項や施設養護における保育士の役割についての理解が乏しい。
LO-2	社会的養護の対象者を理解し、適切な援助の在り方を十分に理解し、表現することができる。	社会的養護の対象者を理解し、適切な援助の在り方を十分に理解している。	社会的養護の対象者を理解し、適切な援助の在り方がある程度理解している。	社会的養護の対象者を理解し、適切な援助の在り方についての理解が不十分。	社会的養護の対象者を理解し、適切な援助の在り方についての理解が乏しい。
LO-3	社会的養護の動向や方向性を十分に踏まえ、問題解決のための方策について、深く考察している。	社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察している。	社会的養護の動向や方向性をある程度踏まえ、問題解決のための方策について、ある程度考察している。	社会的養護の動向や方向性の把握が曖昧で、問題解決のための方策についての考察が十分ではない。	社会的養護の動向や方向性を把握せず、問題解決のための方策について考察しようとする姿勢がみられない。
LO-4	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、援助者としての実践力向上に高い意欲を有する。	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、援助者としての実践力向上への意欲を有する。	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について関心をもち、消極的だが、援助者としての実践力向上への意欲を有する。	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援についての関心はあるが、援助者としての実践力向上に努める姿勢は不十分。	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援についての関心に乏しく、援助者としての実践力向上に努めようとする姿勢はみられない。
LO-5	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を十分適切に主張することができる。課題解決のために他者と協働することが十分にできる。	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために他者と協働できる。	価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら自己の意見を主張することができる。課題解決のために他者と協働しようとする。	他者の意見を尊重しながら、自己の意見を主張することができる程度である。課題解決のための他者との協働は不十分でない。	他者の意見に耳を傾ける姿勢に乏しく、自己の意見の表明も不十分か独善的。課題解決のために他者と協働しようとする姿勢がない。

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	村上 満					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習指導 相談援助					
関連科目	子ども家庭福祉 日本国憲法 保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、保育ソーシャルワーク、相談援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『保育福祉小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】バイステックの原則を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	20								20
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	20								20
LO-5	20		10						30
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1回目	
	【予習】今日の資料 保育と社会福祉：テキストの16ページから25ページまでを読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから25ページまでを改めて読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。	30分
第2回	第2回目社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標、範囲など)	
	【予習】今日の資料1 今日の資料2 社会福祉の意味・定義：テキストの16ページから36ページまでを読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから36ページまでを改めて読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状と社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。	50分
第3回	第3回目社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について)	
	【予習】保育と社会福祉の関係：テキストの16ページから38ページまでを読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから38ページまでを改めて読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。	50分
第4回	第4回目 社会福祉の歴史(1)：日本の福祉の現状+欧米の社会福祉の歴史(イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史)	
	【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキストの42ページから48ページまでを読んでみることにし、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの42ページから48ページまでを改めて読んでみることにし、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。	50分
第5回	(2)：日本の社会福祉の歴史(戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ)	
	【予習】日本の社会福祉の歴史：テキストの48ページから53ページまでを読んでみることにし、我が国の社会福祉について興味を持つ。	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの48ページから53ページまでを改めて読んでみることにし、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系(社会保険・公的扶助)の概念と体系について	
	【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキストの56ページから68ページまでを読んでみることにし、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの56ページから68ページまでを改めて読んでみることにし、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系(日本国憲法・社会福祉法、高齢者福祉・障がい者福祉の法制度)	
	【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえながら、テキストの72ページから84ページまでを読んでみることにし、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系、特に高齢者、障がい者福祉制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの72ページから84ページまでを改めて読んでみることにし、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉施設の実施機関と行財政(国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について)	
	【予習】社会福祉施設の実施機関と行財政：前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキストの86ページから96ページまでを読んでみることにし、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉施設の実施機関と行財政：我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの86ページから96ページまでを改めて読んでみることにし、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設(社会福祉施設の概要、社会福祉施設の運営)	
	【予習】社会福祉の施設：前回の我が国における社会福祉の実施機関と行財政をふまえながら、テキストの98ページから104ページまでを読んでみることにし、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の施設：我が国における社会福祉の施設について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの98ページから104ページまでを改めて読んでみることにし、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について、レジュメを確認する。	60分
第10回	児童家庭福祉：子どもの人権と児童福祉の理念(児童家庭福祉の実施と動向、保育施策の動向)	
	【予習】子どもの人権と児童福祉の理念：前回の我が国における社会福祉の実施機関(特に児童家庭福祉に関する実施機関)をふまえながら、テキストの106ページから119ページまでを読んでみることにし、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と児童福祉の理念：我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの106ページから119ページまでを改めて読んでみることにし、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について、レジュメを確認する。	60分

第11回	社会福祉の専門職と倫理：社会福祉専門職の専門性（社会福祉の専門職、社会福祉専門職の専門性と倫理）	
	【予習】社会福祉専門職の専門性：前回の我が国における子どもの人権と児童福祉の理念をふまえながら、テキストの122ページから137ページまでを読んでみることに により、我が国における社会福祉専門職の専門性について興味を持つ。	60分
	【復習】社会福祉専門職の専門性：我が国における社会福祉専門職の専門性について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの122ページから137ページまでを改 めて読んでみることに、我が国における社会福祉専門職の専門性について、レジュメを確認する。	60分
第12回	相談援助の意味と方法：相談援助・ソーシャルワークの意味（相談援助・ソーシャルワークの視点、相談援助・ソーシャルワークの動向）	
	【予習】相談援助・ソーシャルワークの意味：前回の我が国における社会福祉専門職の専門性をふまえながら、テキストの140ページから155ページまでを読んでみる ことに、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について興味を持つ。	60分
	【復習】相談援助・ソーシャルワークの意味：我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの140ページ から155ページまでを改めて読んでみることに、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について、レジュメを確認する。	60分
第13回	福祉サービスの利用支援と第三者評価：措置制度から契約・利用制度へ（福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決）	
	【予習】措置制度から契約・利用制度へ：前回の我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味をふまえながら、テキストの158ページから184ページまでを読んで みることに、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について興味を持つ。	60分
	【復習】措置制度から契約・利用制度へ：我が国における契約・利用制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの158ページから184ページまでを改 めて読んでみることに、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について、レジュメを確認する。	60分
第14回	地域の福祉の意味と推進方法：地域福祉の理念（地域福祉の担い手、地域福祉の方法）	
	【予習】地域福祉の理念：前回の我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度をふまえながら、テキストの186ページから1 95ページまでを読んでみることに、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について興味を持つ。	60分
	【復習】地域福祉の理念：我が国における地域福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの186ページから195ページまでを改めて読んでみるこ とにより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について、レジュメを確認する。	60分
第15回	まとめ：他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれから（社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方）	
	【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの198ページから218ページ までを読んでみることに、我が国における社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：我が国における他分野との連携とネットワークや社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの198ページか ら218ページまでを改めて読んでみることに、我が国における社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について十分に理解し、知識を習得している。	社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について大體理解し、知識を習得している。	社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法についてある程度理解し、知識を習得している。	社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について少し理解し、知識を習得している。	社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について全く理解しておらず、知識も習得していない。
LO-2					
LO-3	社会福祉を自分の身近な問題として十分に捉えており、その社会的背景や解決すべき方策についても充分論理的に考察できる。	社会福祉を自分の身近な問題として大體捉えており、その社会的背景や解決すべき方策についても大體論理的に考察できる。	社会福祉を自分の身近な問題としてある程度捉えており、その社会的背景や解決すべき方策についてもある程度論理的に考察できる。	社会福祉を自分の身近な問題として少し捉えており、その社会的背景や解決すべき方策についても少し論理的に考察できる。	社会福祉を自分の身近な問題として全く捉えられず、その社会的背景や解決すべき方策についても全く論理的に考察できない。
LO-4	社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを充分的に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等にも充分関心	社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを大體的に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等にも大體関心	社会福祉は生活に極めて密着した学問であることをある程度的に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等にもある	社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを少し把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等にも少し関心を持つ	社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを全く把握できておらず、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等にも全く関心を持って
LO-5	バイステックの原則を十分に理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質	バイステックの原則を大體理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質で	バイステックの原則をある程度理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資	バイステックの原則を少し理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質で	バイステックの原則を全く理解しておらず、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることも、保育者として持つべき資質

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子ども家庭支援の心理学					
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義 								
キーワード	乳幼児の発達心理 臨床心理 教育心理 発達過程								
テキスト・ 参考書等	原口喜充編(2023)「実践に活かす保育の心理学」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度（発表の態度や表現、グループワークへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり振り返る力など）を総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を学ぶ意義 初回授業 赤ちゃんに関するアンケート 初回授業 赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.2-13を読んでおく。	20分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.2-13を復習しておく。 赤ちゃんのふしぎな世界(日本産婦人科医会2018/1019動画)	40分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書pp.14-26を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-26を読み直し復習する。 アルバート坊やの恐怖条件付けに関する動画YouTube	90分
第3回	発達理論と子ども観・保育観 初期経験の重要性と生涯発達の視点から	
	【予習】教科書pp.27-40と p.7を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.27-40および p.7を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.42-52を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト1を行い送信する。 授業スライドを見直す。	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達 発達を支えるアタッチメント	
	【予習】教科書pp.53-66を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.53-66を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達 自己と感情・情動の発達	
	【予習】教科書pp.67-80を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.67-80を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会性の発達	
	【予習】教科書pp.81-93を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.81-93を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.94-108を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2を回答して送信する。 授業のスライドを見直す。 教科書pp.94-108を読み復習する。	90分
第9回	子どもの発達過程 言語の発達	
	【予習】教科書pp.109-120を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.109-120を読み復習する。	90分
第10回	発達障害と発達	
	【予習】教科書pp.121-134を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.121-134を読み復習する。	90分

第11回	発達障害と発達 DVD視聴から理解を深める	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 書式：ワード文書 をダウンロードしファイル名「保育の心理学第11回」として保存する。	90分
第12回	虐待から考える発達	
	【予習】教科書pp.135-149を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト3の提出 授業のスライドを見直す。 教科書pp.135-149を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	保育にいかず学習理論	
	【予習】教科書pp.150-163を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.150-163を読み直す。	90分
第14回	遊びの発達	
	【予習】教科書pp.164-177を読んでおく。	90分
	【復習】7/19課題 小テスト4提出。	90分
第15回	乳幼児期の学びの過程と特性、乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.178-202を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp178-202を読み復習する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識の習得が90%以上できている	乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識の習得が80%程度できている	乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識の習得が70%程度できている	乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識の習得が60%程度できている	乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識の習得が60%未満である
LO-2	発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることが90%以上できている	発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることが80%程度できている	発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることが70%程度できている	発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることが60%程度できている	発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる程度が60%未満である。
LO-3	子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することが90%以上できている	子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することが80%程度できている	子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することが70%程度できている	子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することが60%程度できている	子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考え、自分なりの意見を表現する程度が60%未満である
LO-4	子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことが90%以上できている。	子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことが80%程度できている。	子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことが70%程度できている。	子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことが60%程度できている。	子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組む程度60%未満である。
LO-5	仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成が90%以上できている。	仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成が80%程度できている。	仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成が70%程度できている	仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成が60%程度できている	仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができていない程度が60%未満である。

授業科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理	担当教員名	嶋野 珠生						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育の心理学	後継科目	子どもの理解と援助 教育相談						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	生涯発達の見点から人の発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶ。 また、親子関係や家族関係等について発達的な見点からの理解、および、子育て家庭をとりまく現代の社会的状況や問題についての理解と関心を深め、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
学習目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達的な見点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。								
キーワード	生涯発達 初期経験 家族関係発達 子育て家庭 子育てをめぐる課題 子どもの精神保健 保護者理解								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代「子ども家庭支援の心理学」(みらい)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる。								
LO-2	〔技能〕基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現できる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとする。								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点をもち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	30	20			20			100
LO-1	10	10							20
LO-2	10	10							20
LO-3	10	10	10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは授業中の参加態度(意欲的な授業参加態度、グループワークや発表への積極性、授業振り返りで自分の考えを表現する力など)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の見点 ・エリクソンのライフサイクル論他	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り、WEBシラバスへのコメント 第1回授業スライドを見直す。 ユニセフ幸福度ランキング<日本レポート>	90分
第2回	乳幼児期から学童期前期の発達 ・「となりのトトロ」から学ぶ メイ、サツキ	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書28-43に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント 第2回授業スライドを読んで復習する。	90分
第3回	学童期後期から青年期の発達 ・「千と千尋の神隠し」から学ぶ 千尋	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書46-63に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント #3授業スライド見直し	90分
第4回	成人期から老年期の発達 映画に見る親密性、世代性、統合	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書66-77を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへコメント #4授業スライドを見直す	90分
第5回	授業前アンケート：赤ちゃん体験前 感想記入シート 授業後アンケート：赤ちゃん体験後	
	【予習】実習日誌を持参する、0.1.2歳児の発達が表れていると思うエピソードを選んでおく	90分
	【復習】課題：授業で完成させたワークシートを提出。 使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント #5授業スライドの見直し	90分
第6回	家族・家庭の意義と機能/親子関係・家族関係の理解 ・家族の発達段階、ジェノグラムから見える家族関係	
	【予習】教科書の該当ページ94-113を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、#6授業スライド復習 課題 小テスト1を提出	90分
第7回	子育てを取り巻く社会状況 少子化、非婚化、ワンオペ育児、アウェイ育児、男性育休取得率の問題など	
	【予習】教科書の該当箇所80-88を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント #7回授業スライド復習	90分
第8回	子育ての経験と親としての育ち ・子どもが生まれることで起こる心身の変化、家族の変化、・「ママたちが非常事態」視聴から	
	【予習】教科書の該当箇所114-118に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント 授業#8スライド見直し	90分
第9回	ライフコースと仕事・子育て ・ワークライフバランスを考える、父親の子育て・20年間での幼児の生活の変化を読み取る	
	【予習】教科書の該当箇所119-122に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し 課題 小テスト2提出 #9授業スライド見て復習すること	90分
第10回	子育てを取り巻く社会状況 ・子どもの貧困、ひとり親家庭の現状、DV、虐待の連鎖が起きる社会背景と現状と対策	
	【予習】教科書の該当箇所144-150に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、WEBシラバスへ授業の感想、子どもの貧困を防ぐためにあなたにできることは何だと考えたか、記入。 #10授業スライドを見直し復習する。	90分

第11回	多様な家庭形態があることを知る 「カラフルファミリー2」視聴を通して	
	【予習】前回授業の復習をしておく	90分
第12回	【復習】課題ミニレポート：以下のテーマで自分の考えを書いて提出。 提出方法：第11回WEBシラバスアンケート 問7に記入 字数：200字～400字	90分
	多様な家族とその理解 ・ひとり親、外国籍家族、里親、LGBTQ+	
第13回	【予習】教科書の該当箇所128-141に目を通す	90分
	【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し、WEBシラバスへのコメント 第12回授業スライド復習	90分
第14回	子どもの生活・生育環境とその影響 ・マルトリートメントが及ぼす子どもへの影響とその回復を知る。	
	【予習】教科書該当ページp.144-161を読んでおく	90分
第15回	【復習】第13回授業スライド復習	90分
	特別な配慮を要する家庭 ・病気、障害、貧困、傷つき体験、DV、虐待など 目黒区虐待死事件から学ぶ	
第16回	【予習】予習課題：目黒区虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事2つを以下のリンクから読んでから授業に参加すること。 目黒虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事 目黒区虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事	90分
	【復習】課題 ミニレポート書式 (Google Form)に記入して送信。 提出期限：1/18 (水) 18時	90分
第17回	子どものこころの健康にかかわる問題 子どもの心の問題を家族との関係を読み取ること、保育者の役割	
	【予習】教科書の該当箇所174-187に目を通す	160分
第18回	【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理、WEBシラバスへのコメント 課題 小テスト を提出 試験対策	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得が90%以上できている。	子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得が80%程度できている。	子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得が70%程度できている。	子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得が60%程度できている。	子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得が60%未満である。
LO-2	基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を90%以上習得している。	基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を80%程度習得している。	基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を70%程度習得している。	基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を60%程度習得している。	基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を60%未満である。
LO-3	学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現することが90%以上できている。	学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現することが80%程度できている。	学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現することが70%程度できている。	学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現することが60%程度できている。	学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現することが60%未満である。
LO-4	子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとすることが90%以上できている。	子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとすることが80%程度できている。	子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとすることが70%程度できている。	子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとすることが60%程度できている。	子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとすることが60%未満である。
LO-5	子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることが90%以上できている。	子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることが80%程度できている。	子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることが70%程度できている。	子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることが60%程度できている。	子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることが60%未満である。

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの健康と安全					
関連科目	保育の心理学 子どもの食と栄養								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	子どもの健康と保健の意義を学び、健康に関する現状を統計に基づき課題を把握し、保育士として関係機関との連携方法を理解する。心身の発達や保健活動の実際と、保護者との関係について理解する。疾病の予防・対応を学び、心身の不調の早期発見や適切な具体的な対応を理解する。講義、意見交換から自ら考える学習を目指します。								
学習目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。子どもの身体発達や生理機能及び運動機能並びに精神発達と保健について理解できる。子どもの疾病とその予防法及び適切な対応、保健活動の計画及び評価について理解できる。保育士として必要な知識・対応について考察できる。								
キーワード	保健活動 発育・発達 児童虐待 健康状態の観察 子どもの疾病								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2021 改訂第2刷 診断と治療社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し看護について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って看護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	30	15		5	10			100
LO-1	20	20	10			5			55
LO-2	5								5
LO-3	5				5				10
LO-4	5	5				5			15
LO-5	5	5	5						15
備考	定期試験：感染症の状況により、試験形式は変動することがある。(原則は対面で試験、レポート) 誤答の多い設問に、模範解答を示す。 レポート：随時単元により実施 その他A：授業参加態度 、ミニツペーパー、ノート提出(課題、振り返り問題等の自己学習を記載) 右のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します。(グループワーク、ディスカッション)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 保健活動の意義と目的	
	【予習】 体調確認記録継続 テキストを読む P1-13	30分
	【復習】 資料ファイルの作成 ノートを作成する。人体各部の名称、主な骨の名称など自己学習を記入する。	60分
第2回	子どもの出生と母子保健の意義	
	【予習】 テキスト P 14 ~ 18を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 自分の母子手帳を確認・インタビューをしてレポート作成	120分
第3回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】 テキスト P21 ~ 28を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達	
	【予習】 テキスト P 30 ~ 42を読む	0分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	0分
第5回	子どもの身体発育と生理機能の発達と生活習慣	
	【予習】 テキスト P 44 ~ 50を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第6回	子どもの発育・発達と保健 まとめ	
	【予習】 テキストを読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 1 から 6 回の復習	120分
第7回	地域における保健活動と子どもの虐待防止	
	【予習】 テキスト P 51 ~ 58を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第8回	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	
	【予習】 テキスト P 62 ~ 65を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第9回	小テスト 子どもの病気 子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
	【予習】 今までの復習 テキスト P 67 ~ 74を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 感染症の課題作成、次回提出	120分
第10回	感染症の予防および適切な対応	
	【予習】 テキスト P 76 ~ 81を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分

第11回	新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応	
	【予習】テキストP94-99を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第12回	慢性疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP109-120を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第13回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP101-107を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第14回	救急疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】 テキストP84-92を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分
第15回	保護者との情報共有と家族の支援 子どもの健康診断と関連機関との連携 グループ課題まとめ・発表 *試験の説明 まとめ	
	【予習】発表準備	60分
	【復習】	165分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠からの確に説明できる。筆記試験正答率90%以上。	子どもの保健について理解し、試験で適切に答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。筆記試験正答率80%以上90%未満。	子どもの保健について理解し、試験ではば答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等を説明できる。筆記試験正答率70%以上80%未満。	子どもの保健について理解不十分である。子どもの健康状態・対応を疾病等の説明が不十分。筆記試験正答率70%未満。	子どもの保健について理解不十分である。子どもの健康状態・対応を疾病等の説明が不十分。筆記試験正答率60%未満。
LO-2	子どもの健康状態の把握のための正確な優れた技術を身につけている。	子どもの健康状態の把握のための満足できる技術を身につけている。	子どもの健康状態の把握のための技術が不十分である。	子どもの健康状態の把握のための技術が低い。	子どもの健康状態の把握のための技術が身につけていない。
LO-3	専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について適切に考察・発表できる。	専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について自分の意見を整理して考察・発表できる。	専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について自分の意見を整理して考察・発表できるが不十分である。	専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について自分の意見が少なく考察・発表に活かさない。	専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考える姿勢が乏しく考察・発表に活かさない。
LO-4	最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し養護について学びを深めている。	最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、授業に参加し養護について学びを深めている。	最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握が不十分で、授業の学びにあまり役立っていない。	最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努めず、授業参加に消極的である。	最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努めず、授業に関心が低い。
LO-5	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。個人的に思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことや思いやりを持って養護できるように取り組む姿勢が不十分である。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことや思いやりを持って養護できるように取り組む姿勢がみられない。

授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	C123-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの保健		後継科目						
関連科目	子どもの家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育環境や援助を保健的観点から、関係する各種ガイドライン等から、具体的に理解する。障害、感染症、アレルギー、事故、災害の最新の知見を学び、子どもの健康及び安全を守るための具体的な対応を実践的に身につける。保健指導を計画的に実践して、組織的体制づくりを理解する。小グループで課題達成に向け、事故の役割を理解し積極的に授業参加できるように展開する。								
学習目標	<p>保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。</p> <p>子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解できる。</p>								
キーワード	安全な保育環境 事故災害防止 感染症対策 アレルギー対策 保健計画								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：授業で現場で役立つ！子どもの健康と安全演習ノート 2021年 改訂第2版 診断と治療社</p> <p>*前期の「子どもの保健」テキスト・資料の持参を適宜指示する</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を理解・実践できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	35	10	10		30	15			100
LO-1	10	5	5		5	5			30
LO-2	10	5				10			25
LO-3	5		5		10				20
LO-4	5				10				15
LO-5	5				5				10
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ A：授業の実技等の取組・ミニツッペーパー（10）、課題ノート提出（5）（おさらいテストなど、15回目回収する） ・ 試験は原則対面で実施するが、感染症等の状況に応じて課題レポートとする。誤答の多い設問、模範解答を示す。 ・ 「右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、プレゼンテーション」 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子どもの健康と保育の環境 各測定と評価 前期「こどもの保健」テキストも持参	
	【予習】テキストを読む P1-16	15分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第2回	個別対応と集団全体の健康 健康及び安全管理 衛生管理	
	【予習】テキストを読む P23 - 30 *ハサミ・のり用意	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第3回	体調不良や傷害時の対応 保健的対応の基本 3歳未満児への対応 *乳児保育テキスト持参	
	【予習】テキストを読むP88 - 105	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第4回	危機管理と災害への備え 体調不良や傷害時の対応・応急処置 保健的対応の基本	
	【予習】テキストを読む P34-39 P50 - 59 実習先の市町村ハザードマップ確認	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第5回	保健的対応の基本 3歳未満児への対応 実習からの学びから 個人まとめ KJ法 発表	
	【予習】実習の振り返り	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第6回	感染症の予防と対応	
	【予習】テキストを読む P73 - 89	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第7回	健康および安全管理の実施体制 ・世界の子どもを取り巻く調査	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第8回	健康および安全管理の実施体制 ・世界の子どもを取り巻く調査 発表 子どもへの適切な対応 予防接種	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第9回	健康および安全管理の実施体制 保育における保健計画及び評価 職員間の連携・協働と組織的取組 子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携 *保健だより	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第10回	個別的な配慮・障害を必要とする子どもへの対応 医療的ケア 指文字 発達障害児の生活の構造化を作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分

第11回	個別的な配慮・障害を必要とする子どもへの対応	*多様なケアの発展	
	【予習】テキストを読む		20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習		25分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応	アレルギー（エビベン）	
	【予習】テキストを読む		20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習		25分
第13回	災害の備えと危機管理	E館 プロジェクト	
	【予習】震災・災害関係の報道等の調査		20分
	【復習】・発表準備		25分
第14回	救命救急の対応	講習	
	【予習】発表準備		20分
	【復習】・レポート作成		60分
第15回	救命救急の対応	講習	まとめ 課題の提示
	【予習】テキストを読む		60分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	・おさらいテストノート整理	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を理解・実践	子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で概ね答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を十分に理解・	子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を一部理解・実践で	子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で6割程度答える。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を一部理解・実	子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で6割以下。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を一部理解・実践がで
LO-2	子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。	子どもの健康状態の把握、生命維持のための概ね正確な技術を身につけている。	子どもの健康状態の把握、生命維持のための技術を一部身につけている。	子どもの健康状態の把握、生命維持のための技術がおぼつかない。	子どもの健康状態の把握、生命維持のための技術を身につけていない。
LO-3	専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について十分に積極的に考察・発表できる。	専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について十分に考察・発表できる。	専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について自分の考えが適切に考察・発表できる。	専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について自分の考えを反映した考察・発表できない。	専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について自分の考えがなく、考察・発表に参加できない。
LO-4	最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について深く学びを深める。	最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。	最新の知見と現状分析の把握が不十分、授業に参加し安全確保について学ぶ。	最新の知見と現状分析の把握に努めず、授業に参加し安全確保について学びが浅い。	最新の知見と現状分析の把握に努めず、授業に消極的に学び安全確保ができない。
LO-5	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるようなリーダーの態度が取れる。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるような態度が取れる。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護する自主的な態度が不十分。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことが不十分。専門職として他職種や関連機関と連携して養護する参加する態度が不十分。	子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことが不十分。専門職として他職種や関連機関と連携して養護する態度ができない。

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験	管理栄養士として病院および併設児童福祉施設、認定こども園において実務経験あり 富山県食育リーダー								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの食と栄養					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を習得する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを理解する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	70		10						80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは、質問、感想や授業態度などを総合して評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】食と栄養を学ぶ意義を考え、テキストp.8～21を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.12【おさらいテスト】、p.13【演習課題】を解いて授業内容を整理し、最近の子どもを取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	子どもの食生活をめぐる現状について解説する	
	【予習】テキストp.22～35を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第3回	栄養に関する基本的知識、炭水化物について解説する	
	【予習】テキストp.38～47を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.42【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	脂質とたんぱく質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.47～56を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.49、56【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第5回	ミネラルと水分の機能、ビタミンの機能(1)について解説する	
	【予習】テキストp.58～61を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.60【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.62～63【演習課題】をやる	30分
第6回	ビタミンの機能(2)、栄養素の消化と吸収について説明する	
	【予習】テキストp.61～69を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.69【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.70【演習課題1】をやる	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用について解説する	
	【予習】テキストp.72～84を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.84【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第8回	献立作成と調理の基本について解説する。食事バランスガイド等の使い方についても解説する	
	【予習】テキストp.86～91を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.91【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.92【演習課題】をやる	30分
第9回	妊娠期・授乳期の食生活、乳児期の食生活(1)、乳汁栄養について解説する	
	【予習】テキストp.94～106を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.100、106【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.101【演習課題】をやる	30分
第10回	乳児期の食生活(2)について理解する	
	【予習】テキストp.108～113を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.114【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.113【演習課題】を読み、考える	30分

第11回	幼児期の心身と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキストp.116～120を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.120【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第12回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキストp.122～127を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.127【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.128【演習課題】をやる	30分
第13回	学童期・思春期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.130～138を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.139【演習課題3】をやる	25分
第14回	食物アレルギーとその対応について解説する	
	【予習】テキストp.208～220を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.212、220【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.221【演習課題】をやる	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	10分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	子どもの食と栄養の基本的な知識を十分に理解している。	子どもの食と栄養の基本的な知識を理解している。	子どもの食と栄養の基本的な知識をおおよそ理解している。	子どもの食と栄養の基本的な知識をわずかに理解している。	子どもの食と栄養の基本的な知識をほとんど理解していない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度が非常にみられる	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がおおむねみられる	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がややみられる	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度があまりみられない	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がほとんどみられない
LO-5					

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験	管理栄養士として、病院および併設児童福祉施設、認定こども園において実務経験あり 富山県食育リーダー								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						10			10
LO-5									
備考	グループワーク、実習、ディスカッションあり。レポートにはコメントをつけて返却する その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.102～107を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第2回	離乳食の実習（1）離乳時期（離乳形態）の異なるベビーフードを味わい、物性や栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	離乳食の実習（2）離乳食を調理し、調理方法、量や味付けなど特徴を学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第4回	幼児期の実習（1）幼児期の昼食を調理、盛付をし、量や工夫等について学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.116～120を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第5回	保育実習を終えて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い、討議する	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第6回	幼児期の実習（2）子どもと一緒に楽しむ間食（おやつ）、食物アレルギー対応のおやつを実習する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト「間食の意義と与え方」p.122～125、「食物アレルギーへの対応と食事」p.208～212を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分
第7回	食育基本法と第4次食育推進基本計画の概要を解説し、保育所・幼稚園における食育の目的と内容を考えてみる	
	【予習】テキストp.146～150を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.150,p.151【演習課題】を解いて授業内容を整理する	30分
第8回	食育の内容と計画、食育のための環境づくり、食育を通じた家庭や地域への支援について解説する	
	【予習】テキストp.152～171を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.158,164,171を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	正月料理の起こりや材料の縁起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく。	15分
	【復習】正月料理を実際に作ってみる おせち料理・雑煮についてまとめる	30分
第10回	妊娠期の食事を実習し、各期の特徴を理解する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.94～101を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分

第11回	子どもを取り巻く食の問題について、意見を出し合い、討議する	
	【予習】子どもの食環境における問題として、近年、特に家庭においてどのような問題があるのか調べる	15分
	【復習】授業での討議から、どのような保育・食育環境の配慮が必要か整理し考えをまとめる	20分
第12回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える 食中毒について解説する	
	【予習】テキスト「家庭における食事と栄養」p.174～176、「児童福祉施設における食生活」p.178～190、「食中毒」p.205～206を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.206を解いて授業内容を整理する	30分
第13回	子どもの疾病と障がいのある子どもの食生活について解説する	
	【予習】テキストの「障がいのある子どもの食生活」p.192～198、「疾病および体調不良の子どもへの対応」p.202～204を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第14回	富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る。	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	15分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について最近の情報から解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	15分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	子どもの食と栄養の専門的な知識を十分に理解している	子どもの食と栄養の専門的な知識を十分とは言えないが理解している	子どもの食と栄養の専門的な知識をおおよそ理解している	子どもの食と栄養の専門的な知識をほとんど理解していない	子どもの食と栄養の専門的な知識を全く理解していない
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を十分に応用できる	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術をおおよそ身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけておらず、家庭支援においてもその技術をほとんど応用できない	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけておらず、家庭支援においてもその技術を応用できない
LO-3	極めて論理的な考察ができ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を大いに見極めることができる	論理的な考察ができ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる	論理的な考察ができるが、自らを省察するには不十分で、実践的におおよそ問題解決方法を見極めることができる	論理的な考察はややできるが、自らを省察できず、実践的に問題解決方法をほとんど見極めることができない	論理的な考察ができず、問題解決方法を見出すことができない
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力を大いに身につけている	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力を身につけている	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境をおおよそ把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力をやや身につけている	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を把握しておらず、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力をほとんど身につけていない	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を把握しておらず、実践力も身につけていない
LO-5					

授業科目名	教育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	教育方法論						
関連科目	保育原理 教育原理 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	カリキュラムの基礎理論を知り、計画・評価の意義や保育の過程の循環が保育の質向上を図ることを理解する。また、保育における計画の構造を知り、全体計画と指導計画及びその他の計画をマネジメントする力を身に付ける。								
学習目標	教育課程の役割・機能・意義を理解する。 教育課程編成の基本原則及び保育実践に即した計画の編成方法を理解する。 園全体の計画を総合的にマネジメントする意義と方法を理解する。								
キーワード	カリキュラム 指導計画 PDCA 質の向上 カリキュラム・マネジメント								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『教育課程・保育の計画と評価』萌文書林 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）『幼保								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼稚園教育要領等の性格や教育課程編成の目的、社会的役割、機能を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの基本原則についての確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 一連の保育の過程と関連づけながら指導計画を評価し、改善案を考えることができる。カリキュラム評価の基礎的な考え方ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 教育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを理解し、PDCAサイクルに活かすことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例等の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	20	20							40
LO-2			10						10
LO-3	15		10						25
LO-4	15								15
LO-5						10			10
備考	その他Aは受講態度（グループ参加態度含む）とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	カリキュラムの意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「カリキュラム」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「カリキュラム」に関する記述部分を読んでおく。	30分
	【復習】講義内容をノートをまとめる。 要領、指針等の重要語句を覚える。	60分
第2回	教育に関するカリキュラムの種類<教育課程、全体的な計画、指導計画(長期・短期)>とその内容	
	【予習】教科書の該当部分を読む	40分
	【復習】カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の重要語句を覚える。	80分
第3回	計画の根拠となる法令の確認 全体的計画と指導計画 それぞれの特徴	
	【予習】 保育の計画の基本原則を確認しておく。	40分
	【復習】保育の計画の構造を理解する。 指導計画の特徴についてまとめておく。 課題：実習先の保育理念や保育目標を調べて記載する	60分
第4回	全体的な計画の内容	
	【予習】全体的な計画と指導計画の基本原則を確認する。	40分
	【復習】課題シートを完成する	120分
第5回	保育の過程(計画、実践、省察・評価、改善)について 保育の評価について 記録の重要性	
	【予習】教科書該当部分(第9講)を読む。	30分
	【復習】課題を実施する。 1 日誌の振り返りシート 2 私のエピソード	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	指導計画の作成と展開 縦断的な視点をもつ	
	【予習】課題プリント(エピソード理解)を仕上げる	120分
	【復習】教科書該当部分を読む。小テストの振り返り	120分
第8回	指導計画の作成と展開 年間指導計画～月間指導計画へ 月間指導計画～週案へ	
	【予習】過去の配布資料で、計画の種類と特徴を確認しておく。	60分
	【復習】教科書の演習課題及び配付された課題プリントを仕上げる。	60分
第9回	指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ	
	【予習】教科書該当部分を読む	30分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第10回	指導計画の作成 長期と短期の指導計画	
	【予習】2つの活動の指導計画案を考える。	40分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	120分

第11回	小テスト実施 指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日	
	【予習】小テストの準備	240分
	【復習】小テストの内容を振り返る。 講義内容をノートにまとめる。	120分
第12回	指導計画の作成と展開 実習指導計画の発表・討議	
	【予習】計画案をわかりやすく伝えるための工夫を考えてくる	60分
	【復習】 課題プリントを仕上げる。	50分
第13回	カリキュラム・マネジメントの実際	
	【予習】教科書の指定ページを読んでくる。	80分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	40分
第14回	小学校との連携 ～ 生活と発達の連続性をふまえた計画	
	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。 教科書の小学校への接続に関する説明の文章を読む。	60分
	【復習】課題シートの整理・提出	100分
第15回	これまでの学習のまとめ	
	【予習】試験に関する項目を教科書や指針で確認しておく。	240分
	【復習】課題シートを仕上げる	40分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	保育に関する計画・評価の内容を十分に理解し、カリキュラムの意義を的確に述べることができる。筆記試験の正答率90%以上。	保育に関する計画・評価の内容を理解し、カリキュラムの意義を的確に述べることができる。筆記試験の正答率80%以上90%未満。	カリキュラムの意義については説明できるが、保育に関する計画・評価の内容理解が不十分である。筆記試験の正答率70%以上80%未満	保育に関する計画・評価の内容理解が不十分で、カリキュラムの意義について述べることができない。筆記試験の正答率50%以上70%未満	保育に関する計画・評価の内容理解が乏しく、筆記試験の正答率50%未満。
LO-2	指導計画のねらいと内容の設定が適切であり、子ども理解につながる記録作成ができている。	指導計画のねらいと内容を設定することができる。同時に、子ども理解につながる保育記録作成に努めている。	子ども理解につながる保育記録作成に努めているが、指導計画のねらいと内容の設定が不十分である。	指導計画のねらいと内容の設定と保育記録の作成がともに不十分である。	指導計画のねらいと内容の意味を理解しておらず、保育記録にも不適切な内容が目立つ。
LO-3	保育事例について、一連の保育の過程と関連付けながら理解し、的確な改善案を考えることができる。	保育事例について、一連の保育の過程と関連付けながら理解し、改善案を考えることができる。	保育事例について、一連の保育の過程と関連付けながら理解しているが、改善案を考えることが難しい。	保育事例について、一連の保育の過程と関連付けながら理解することが十分ではない。	一連の保育の過程の理解が不十分である。
LO-4	カリキュラムが、地域社会や家庭、園環境と密接な関連があること、園全体の計画をマネジメントしていく必要性を理解し、その方法にも関心をもって学ん	カリキュラムが、地域社会や家庭、園環境と密接な関連があること、園全体の計画をマネジメントしていく必要性について理解しようとしている。	カリキュラムが、地域社会や家庭、園環境と密接な関連があることを理解している。	カリキュラムが、地域社会や家庭、園環境と密接な関連があることを理解しようと取り組んでいる。	カリキュラムの構造や、地域社会などの関連について、理解しようという態度が見られない。
LO-5	保育事例討議に積極的に参加し自らの意見をわかりやすく表明するとともに、他者の意見を自らの意見に反映させている。	保育事例討議に積極的に参加し自らの意見を表明するとともに、他者の意見を自らの意見に反映させている。	保育事例討議に積極的に参加しているが、自らの意見の表明が不十分であり、他者の意見の受容が明確でない。	保育事例討議に参加しているが、自らの意見を表明することがない。	保育事例討議への参加態度が不十分である。

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	日光 恵利						
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現						
関連科目	保育内容（健康）指導法 保育内容（言葉）指導法 保育内容（音楽表現）指導法 保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容が乳幼児の遊びや生活として総合的に展開される過程を、乳幼児の姿と5領域のねらい及び内容と関連付けて学ぶ。また、保育・幼児教育は環境を通して行われることを踏まえ、環境を構成し実践するために必要な知識と基本的な保育者の関わりの方法を修得する。								
学習目標	保育・幼児教育の基本を踏まえた保育所・幼稚園・こども園における保育の内容について総合的に理解する。遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成と保育者の関わりについて理解する。								
キーワード	遊び 環境構成 保育者の関わり ねらいと内容 養護と教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『演習 保育内容総論 あなたならどうしますか?』 酒井幸子・守巧 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の基本を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成に関する基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開する際に、適切な環境構成と保育者の関わり方を考察し選択できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】配布プリントや資料を基に、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60	20		10	10			100
LO-1		30							30
LO-2		20							20
LO-3		10	10						20
LO-4			10		10				20
LO-5						10			10
備考	その他A：グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを整理し保管すること。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 保育内容を総論として学ぶとは	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト序章を読む。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	「遊び」からとらえる保育内容 子どもにとっての遊びとは 遊びの定義と実際 この写真を見て、印象に残ったものとその理由を授業後アンケート問7に記入。	
	【予習】テキスト第3章4節を読む。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	保育における5領域のねらい及び内容の関連性 遊びを通して子どもが経験することを5領域から考察する。	
	【予習】テキスト第4章7節を読む。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	【小テスト】 保育・幼児教育の基本と保育内容 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『教育・保育要領』に示された保育の基本について理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「総則」を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	保育の基本 まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第6回	○「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながり	
	【予習】『保育所保育指針』の該当箇所を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	保育における環境構成(1) 環境構成とは何か 環境構成の必要性について学ぶ。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「環境を通じた保育」について述べている部分を探し、読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第8回	保育における環境構成(2) 乳幼児が落ち着いて過ごせる環境構成、園庭環境について学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第9回	【小テスト】 保育における環境構成(3) 乳幼児が豊かな経験ができる遊びの環境構成について考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第10回	養護と教育の一体的展開 事例を通して、養護と教育が一体的に展開する過程を理解する。	
	【予習】『指針』の養護に関する部分を読み、不明な点を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

第11回	気になる子どもの支援	
	【予習】テキスト5章1節を読む。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第12回	幼保小の連携	
	【予習】テキスト第5章3節を読む。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	多様な保育の展開(1) 気になる子どもの保育、外国にルーツをもつ子どもの保育、地域交流と保育等の事例について、グループ討議を行う。	
	【予習】関連資料を探す。	45分
	【復習】グループ発表の資料を作成する。	120分
第14回	多様な保育の展開(2) グループで討議の結果をまとめる。	
	【予習】関連資料を探す。	45分
	【復習】ワークシートを完成し、提出期日までに提出する。	30分
第15回	【確認テスト】 学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする。	60分
	【復習】15回の授業で配布されたプリント・資料を整理し、確認する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	保育の構造と保育のねらい及び内容について十分に理解しており、試験の正答率が100%。	保育の構造と保育のねらい及び内容についてほぼ理解しており、試験の正答率が80%以上100%未満。	保育の構造と保育のねらい及び内容についておおよそ理解しており、試験の正答率が60%以上80%未満。	保育の構造と保育のねらい及び内容について理解が不十分で、試験の正答率が30%以上60%未満。	保育の構造と保育のねらい及び内容についてほとんど理解しておらず、試験の正答率が30%未満。
LO-2	遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成の基本的な技術を十分身に付けている。	遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成の基本的な技術を身に付けている。	遊びや生活を総合的に展開していくための基本的な技術をおおむね身に付けている。	遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成について基本的な視点が身に付いていない。	環境を通じて遊びや生活を総合的に展開していくことについての理解ができていない。
LO-3	保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開するための環境構成と保育者の関わり方について、適切な考察・選択ができる。	保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開するための環境構成と保育者の関わり方について、考察・選択ができる。	保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開するための環境構成と保育者の関わり方について、考察・選択するが不適切な部分もある。	保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開するための環境構成と保育者の関わり方について、考察できない。	保育・幼児教育の基本を理解していない。
LO-4	授業のポイント、キーワードだけではなく、関連する課題について自ら調べ、的確にレポートにまとめられている。	授業のポイント、キーワードだけではなく、関連する課題について調べ、レポートにまとめられている。	授業のポイント、キーワードについて、レポートにまとめられている。	授業のポイント、キーワードについてレポートにまとめているが、抜け落ちや不十分な部分がある。	レポートが作成されていない。
LO-5	グループワークに積極的に参加し、他者と調整したりリードして役割を的確に遂行することができる。	グループワークに積極的に参加し、他者と調整しながら自らの役割を遂行できる。	グループワークに参加し、求められた役割を遂行する。	グループワークに参加するが、自らの役割の遂行が不十分である。	グループワークに参加しようとしめない。

授業科目名	子どもと言葉			科目コード	C133-50				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	日光 恵利						
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	保育内容(言葉)指導法						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を修得する。人間ならではの言葉の意義と機能を理解したうえで、乳幼児の言葉を育み、言葉に対する感覚を豊かにするための教材や実践に関する知識を修得する。								
学習目標	人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、乳幼児の言葉の発達過程が説明できる。 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。 乳幼児にとっての児童文化財(絵本、紙芝居、素話等)の意義を理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。								
キーワード	発達と言葉 言葉に対する感覚 絵本								
テキスト・ 参考書等	テキスト:子どもの育ちと「ことば」 横山真貴子 教育情報出版 参考書:『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識を修得している。								
LO-2	【技能】児童文化財の意義を理解し、教材を準備・実践する基礎的な技術を修得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】言葉の感覚を豊かにする実践について理解し、乳幼児の発達に合わせて構想・展開できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】乳幼児の言葉の育ちに関心を持ち、豊かな言葉の経験ができるような環境を意欲的に模索する。								
LO-5	【人間性・社会性】グループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40				20	30	10	100
LO-1		40							40
LO-2						15			15
LO-3						5	10		15
LO-4							20		20
LO-5								10	10
備考	その他A:絵本リスト その他B:エピソード記述 その他C:グループ活動などの取り組み姿勢 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明）	
	【予習】* 保育所保育指針を持参する	0分
	【復習】授業の全体像を確認する。	15分
第2回	○言葉の働きと言葉を育むもの 言葉の意義と言葉の基盤を育む保育者の援助について学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第3回	○保育所保育指針にみる児童文化財の意義 絵本、紙芝居、素話の実際からその意義について学ぶ。 【課題1】絵本リストの作成	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。 絵本リストの作成に取り掛かる。	30分
第4回	○保育実践の中での絵本（1） 絵本の役割、絵本の選択の仕方等を学ぶ。	
	【予習】絵本リストの中から、乳児向けの絵本を2冊選び準備する。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。 絵本リストの作成を進める。	60分
第5回	保育実践の中での絵本（2） 絵本の読み聞かせの仕方、教材研究、読み聞かせ実習	
	【予習】絵本リストの中から、乳児向けの絵本を2冊選び準備する。	15分
	【復習】絵本リストを完成させる 実習後、実施状況を記入。提出期日までに提出する。	45分
第6回	エピソード記述の作成 エピソード記述の基本的なことを理解し、実習時の経験を表す。 【課題2】エピソード記述	
	【予習】実習日誌を見直し、エピソードを選んでおく。	15分
	【復習】エピソード記述を完成する。	60分
第7回	エピソード記述の発表と省察 グループで発表し合い、意見交換をする。	
	【予習】エピソード記述を読み、手直しをする。	15分
	【復習】友だちからのコメントを受けて、更に考察する。	45分
第8回	乳児期の言葉の発達 誕生から1, 2歳ころまでの言葉の獲得過程について学ぶ。	
	【予習】テキスト4章を読み、概要を把握する。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第9回	射水市大島絵本館見学	
	【予習】実施要項をよく読み、必要な物を準備する。	10分
	【復習】ワークシートを完成する。	30分
第10回	○射水市大島絵本館見学	
	【予習】実施要項をよく読み、必要な物を準備する。	10分
	【復習】ワークシートを完成し、提出期日までに提出する。	30分

第11回	幼児期の言葉の発達 3～5歳ころの言葉の発達過程について学ぶ。	
	【予習】テキスト5・6章を読み、概要を把握する。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第12回	4歳以上児の言葉の発達の課題 「2次的言葉」、幼児期の文字に関する事柄について学ぶ。	
	【予習】テキスト10章を読み、概要を把握する。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第13回	○言葉の楽しさ、おもしろさを味わうとは 言葉に対する感覚を豊かにする乳幼児の遊びを体験する。	
	【予習】言葉遊びにはどのようなものがあるか調べておく。	60分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第14回	保育所保育指針等における領域「言葉」 ねらい、内容、内容の取り扱いについて理解する	
	【予習】テキスト3章を読み、概要を把握する。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。 確認テストの準備をする。	90分
第15回	【確認テスト】 学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする。	90分
	【復習】返却された課題等を整理し、復習する。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識を確実に修得している。	乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識を修得している。	乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識をおおよそ修得している。	乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識の修得が不足している。	乳幼児の言葉の発達過程について理解できていない。
LO-2	児童文化財の意義を十分に理解し、教材を適切に準備・作成できる。	児童文化財の意義を理解し、教材を準備・作成できる。	児童文化財の意義をおおよそ理解しており、教材を準備・作成できる。	児童文化財の意義を十分理解しておらず、教材の準備・作成が不十分である。	児童文化財の意義を理解しておらず、教材の準備・作成ができていない。
LO-3	言葉に対する感覚を豊かにする実践について十分に理解しており、乳幼児の発達に合わせて構想・展開できる。	言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解しており、乳幼児の発達を意識して構想・展開できる。	言葉に対する感覚を豊かにする実践についておおよそ理解し、乳幼児に関わろうとする。	言葉に対する感覚を豊かにする実践について十分理解しておらず、乳幼児へのかかわりが画一的である。	言葉に対する感覚を豊かにする実践についてほとんど理解しておらず、乳幼児に関わろうとしない。
LO-4	乳幼児の言葉の育ちに関心をもち、豊かな言葉の経験ができるような環境を意欲的に模索する。	乳幼児の言葉の育ちに関心をもち、豊かな言葉の経験ができるような環境を模索する。	乳幼児の言葉の育ちにと豊かな言葉の経験ができるような環境について関心がある。	乳幼児の言葉の育ちにと豊かな言葉の経験ができるような環境についての関心が希薄である。	乳幼児の言葉の育ちにと豊かな言葉の経験ができるような環境についての関心がない。
LO-5	グループワークに積極的に参加し、リードすることができる。	グループワークに積極的に参加し、自分の意見を発言できる。	グループワークで求められて自分の意見を発言できる。	グループワークで他者の意見に同調・批判する。	グループワークに加わろうとしない。

授業科目名	子どもと音楽表現			科目コード	C133-60				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、保育内容総論	後継科目	保育内容(音楽表現)指導法						
関連科目	子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状、保育士資格								
授業の概要	領域「表現」の指導に関する、子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。様々な表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、音楽表現を軸として、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 表現の芽生え								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	なし								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	
	【予習】15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	30分
	【復習】シラバスを読み返して、授業の全体像をつかむ。	20分
第2回	音を感じよう！音リスト作成	
	【予習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	30分
	【復習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	30分
第3回	「表現するとは何か」について理解する。 保育所保育指針1歳以上3歳未満児の領域「表現」のねらいと内容について理解を深める。	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領の領域「表現」の部分に目を通しておく。	20分
	【復習】保育所保育指針、幼稚園教育要領を読み返しておく。	20分
第4回	0,1,2歳児向けの手遊びについて知る。 さまざまな手遊びを体験し、自分一人でも人前で披露できるようにする。	
	【予習】0,1,2歳児向けの手遊びにはどのようなものがあるか、本やインターネットの動画などで調べておく。	30分
	【復習】0,1,2歳児向けの手遊びを人前でもできるように、友人や家族の前で披露する。	20分
第5回	保育実習 -1で見てきた子どもの姿について、領域「表現」のねらい、内容と照らし合わせてレポートを作成する。	
	【予習】実習で見てきた子どもの姿について、自身の実習記録を見返して、保育所保育指針と照らし合わせておく。	30分
	【復習】自分の実習記録を読み返して、子どもの姿について振り返る。	20分
第6回	「子どもを見る」 表現の芽ばえウォッチング 3歳以上児 事例紹介 探求	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの探求の意味について、振り返る。	20分
第7回	3歳以上児 事例紹介 模倣、即興歌	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの模倣には、どのような意味があるのか振り返る。	60分
第8回	音の出るしくみ、音を感じる方法	
	【予習】音が鳴る仕組みについて調べておく。 楽器の五分類法とは何かについて調べる。	60分
	【復習】どんな音具を作りたいか考えておく。素材は？音の出るしくみは？	20分
第9回	ドラムサークルとは、実践	
	【予習】ドラムサークルの意味や効果について調べておく。 インターネットでドラムサークルの動画を視聴してみる。	30分
	【復習】みんなで楽しめるリズムについて振り返る。	20分
第10回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】オノマトペを楽しめる子ども向けの絵本や楽曲を探しておく。	30分
	【復習】オノマトペを楽しめる絵本を声に出して読む。	20分

第11回	音・色・形を楽しめる絵本と表現	
	【予習】ドラムサークルの楽しみ方について、ネットで調べておく。	60分
	【復習】音・色・形を楽しめる絵本やオノマトペを用いた楽曲について振り返る。	30分
第12回	音で遊ぼう 音具を用いてドラムサークルを楽しむ。	
	【予習】自分たちが作った曲を再現できるようにしておく。	30分
	【復習】YouTubeの動画を見て、他の班や自分たちの発表を振り返る。	30分
第13回	保育の場における豊かな表現ができる環境とは	
	【予習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容を読み込んでおく。	30分
	【復習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容、内容の取扱いを理解し、読み返す。	30分
第14回	自分なりの表現とは 事例から学ぶ	
	【予習】これまでの授業を振り返り、レポート作成に取り組む。	30分
	【復習】	30分
第15回	総括「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」 後期試験レポート用紙（ワード）	
	【予習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、これまで学んだことをレポートとしてまとめる。	90分
	【復習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、振り返る。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	領域「表現」のねらい及び内容について、深く理解している。	領域「表現」のねらい及び内容について、ほぼ理解している。	領域「表現」のねらい及び内容について、おおむね理解している。	領域「表現」のねらい及び内容をあまり理解していない。	領域「表現」のねらい及び内容をほとんど理解していない。
LO-2	人前で創意工夫を生かした表現が十分できる。	人前で創意工夫を生かした表現ができる。	人前で表現することができる。	人前で表現する力があまりみられない。	人前で表現する力がほとんどみられない。
LO-3	感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることが十分できる。	感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることがまずまずできる。	感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。	感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることがあまりできない。	感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができない。
LO-4	音楽表現に関心をもち、演習に主体的に取り組もうとしている。	音楽表現にやや関心をもち、演習に主体的に取り組もうとしている。	音楽表現にやや関心をもっているが、演習に対して受動的である。	音楽表現への関心があまりみられず、演習に対して受動的である。	音楽表現への関心が低く、学習意欲が見られない。
LO-5	グループやペアでの演習に積極的に参加し、先頭にたつてグループをリードすることができる。	グループやペアでの演習に積極的に参加しようとする。	グループやペアでの演習では積極性がみられず受動的である。	グループやペアでの演習ではやや依存的である。	グループやペアでの演習に参加しようとする姿勢がみられない。

授業科目名	子どもと造形表現			科目コード	C133-70				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術		後継科目	造形表現技術 保育内容(造形表現)指導法					
関連科目	音楽表現技術 音楽表現技術								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の制作と鑑賞活動や五感を通じた総合的な表現活動に取り組み、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。乳幼児の造形表現指導において、発達過程や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	乳幼児の表現の姿や発達過程を理解する。造形表現の基礎的な知識・技能や様々な表現活動との関連性を学ぶことを通して、乳幼児の表現を支えるための感性を豊かにする								
キーワード	感性 想像 創造 製作活動 グループワーク 連携授業								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」横 英子 著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の造形表現における発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現及び統合的な表現活動に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的・統合的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動や統合的な表現の意義、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作をすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形や統合的な表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、表現活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達過程	
	【予習】 幼児が絵を描く姿の観察とその絵を鑑賞し、レポートを作成する。 レポート提出	90分
	【復習】	0分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の特徴・様式と援助 ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育実習 - 1に向けて 実演 0,1,2歳児を対象として、スケッチブックシアターを使って自己紹介をする。 教材制作 0,1,2歳児を対象とする手作り教材を制作する。	
	【予習】 実演の練習をする。	40分
	【復習】 授業での実演を振り返り、実習に向けた実演練習をする。	40分
第4回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 落ち葉、どんぐり、まつぼっくりなど 作品提出	
	【予習】 遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】 並べた作品を写真に撮り、展示方法・環境に関するレポートを作成する。 レポート提出	90分
第5回	鑑賞 1 美術館見学（美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナー） 3,4回は連続して実施。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	鑑賞 1 美術館見学（企画展・常設展 作品鑑賞）	
	【予習】	0分
	【復習】 作品鑑賞についてのレポートを作成する。 レポート提出	90分
第7回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 落ち葉、小枝、木の実など 作品提出	
	【予習】 製作に使用する追加材料を準備する。	15分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、表現活動を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	表現について考える : 見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚・から感じたことを表現する。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 振り返りワークシートに取り組む。	30分
第9回	表現について考える : 音をさがす グループ活動 さまざまな素材と関わりながら音を見つける ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 材料との出会いと音の発見	
	【予習】 音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分

第11回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 音具完成 作品は「子どもと音楽表現」で演奏活動に使用する。	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】	0分
第12回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェ作品の解体とワークシート記入	
	【予習】	0分
	【復習】レポート作成：合同授業での取り組み「表現」について	60分
第13回	版画 スタンピング/ステンシル- いろいろな素材とダンボールを使ったスタンプ作りとステンシル技法	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】 作品提出：展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第15回	版画 スチレン版画・モノプリント 刷り 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】後期の授業を振り返り、レポートにまとめる。 レポート提出	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	造形表現や子どもの発達過程に関する基礎的な用語や知識を十分に理解している。	乳幼児の造形表現や子どもの発達過程に関する基礎的な用語や知識を理解している。	乳幼児の造形表現や子どもの発達過程に関する基礎的な用語や知識をおおむね理解している。	乳幼児の造形表現や子どもの発達過程に関する基礎的な用語や知識を理解する努力が必要である。	乳幼児の造形表現や子どもの発達過程に関する基礎的な用語や知識を理解する努力が大いに必要である。
LO-2	表現の意図を大切に、材料や用具、技法などの特性を生かして、効果的な表現方法を工夫している。	表現の意図を大切に、材料や用具、技法などの特性を生かして、効果的な表現方法を工夫している。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を意識して、表現方法を工夫している。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を確認して、表現方法の工夫に取り組む必要がある。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を十分に確認して、表現方法の工夫を意識して取り組む必要がある。
LO-3	色や形、構成などを工夫し、自身の感性や想像力を十分に働かせて創造的な表現の組み立てをよく考えている。	色や形、構成などを工夫し、自身の感性や想像力を働かせて創造的な表現の組み立てを検討している。	色や形、構成などを考え、自身の感性や想像力を基に表現の組み立てを検討している。	色や形、構成などを考え、自身の感性や想像力を基にして、表現の組み立てに取り組もうとする努力が必要である。	色や形、構成などに関心をもち、自身の感性や想像力を大切にして、表現の組み立てに取り組もうとする努力が大いに必要である。
LO-4	乳幼児の造形表現活動に強く関心をもち、主体的に造形活動や鑑賞に取り組み、楽しく創造的な表現活動に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組み、楽しく創造的な表現活動に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、楽しく造形活動や鑑賞に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組もうとする努力が必要である。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組もうとする努力が大いに必要である。
LO-5	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を十分受け止めて、積極的にコミュニケーションをとって活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を受け止めて、積極的に活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を受け止めて、活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方に耳を傾け、活動に取り組む努力が必要である。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などに参加し、他者の良さや考え方に耳を傾け、活動に取り組む努力が大いに必要である。

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代 松居 紀久子						
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、現付属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	乳児保育						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴に応じた具体的保育方法や運営体制について考えます。基本的な乳児保育の技能の基礎となる知識・理論を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
キーワード	乳児 三歳児神話 生命の保持 情緒の安定 発育・発達を踏まえた保育 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】 乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 乳児の主体性を尊重した保育援助や関わりを考えることができる。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30			10			100
LO-1	40	10							50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度とする。 授業内ではグループワークやディスカッション、赤ちゃん人形を使った演習を行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児とは何か オリエンテーション 問1 問2 演習1 4組問1 4組問2 4組演習1	
	【予習】教科書の目次と内容に目を通しておく。	5分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 参考資料	10分
第2回	乳児保育の社会的役割 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題、乳児保育の意義について	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】5月連休後に提出(5/9,11)の課題に取り組む 提出先 4のマークのところ レポート用紙 課題：3歳くらいまでの子どもをもつ家族に関すること(街で見かけた親子やニュースやドラマ等で伝えられた親子、グループ課題で知ったことなど)について、	30分
第3回	乳児保育の機能 保育所保育指針で示される3つの視点と5つの領域	
	【予習】提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】保育所保育指針を読み、課題シートを仕上げる	30分
第4回	3歳未満児の発達理解と保育 発育とケアの配慮点	
	【予習】講義ノート及び教科書の該当部分の内容を確認する。	15分
	【復習】3歳未満児の発育の特徴について、整理してまとめる。	20分
第5回	3歳未満児の発達理解と保育 運動機能の発達と保育環境	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】3歳未満児の運動発達について、整理してまとめる	20分
第6回	3歳未満児の発達理解と保育 認知機能の発達と保育環境	
	【予習】小テストに備えて、乳児の発達について学習する。	50分
	【復習】小テストに出題された内容を、再確認する。	10分
第7回	3歳未満児の生活と環境 排泄と食事 小テスト実施	
	【予習】排泄及び食事に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の生活を支える用具や環境についてまとめる。	15分
第8回	3歳未満児の生活と環境 睡眠、着脱衣、衛生など	
	【予習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品についてまとめる。	15分
第9回	3歳未満児の生活と環境 安全な環境づくり、事故防止等	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】安全な環境づくりのポイントをまとめる。	30分
第10回	3歳未満児の遊びと環境 人とのかかわりを基本とする遊び	
	【予習】人とのかかわりの発達について、確認する。	15分
	【復習】人とのかかわりを基本とする遊びのメニューを増やす(課題シート記入)	30分

第11回	3歳未満児の遊びと環境 自然とのかわり	
	【予習】自然との関わりが3歳未満児の発達に与える影響について考えてくる。	20分
	【復習】3歳未満児の発達を促す自然環境についてまとめる。	30分
第12回	3歳未満児の遊びと環境 ものとのかわりを基本とする遊び（保育教材の活用など）	
	【予習】歌遊びや絵本など、3歳未満児にふさわしいと思われる教材を調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の遊びを促す保育教材についてまとめる。	30分
第13回	3歳未満児の発達に応じた援助や関わりのポイントを一覧表として作成する。	
	【予習】グループで作成する課題シートにおける個々の分担部分を整理し、まとめてくる。	30分
	【復習】グループで、発達と生活・保育の表を完成する。	30分
第14回	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮、3歳以上児への移行時期の配慮	
	【予習】グループで課題シートを完成しておく。	30分
	【復習】子どもの発育・発達と生活や遊びとの関連を整理して理解する。望ましい保育士の援助や配慮を再確認する。	30分
第15回	乳児保育の実際	
	【予習】ディリープログラムに目を通しておく。	15分
	【復習】これまでの学びをまとめる。定期試験の準備学習をする	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳児期の発達特徴や乳児保育の基礎的事項について十分に理解し、的確に説明できる。筆記試験での正答率が90%以上。	乳児期の発達特徴や乳児保育の基礎的事項について理解し、概ね説明できる。筆記試験での正答率が80%以上90%未満。	乳児期の発達特徴や乳児保育の基礎的事項について概ね理解し、簡単に説明できる。筆記試験での正答率が70%以上80%未満。	乳児期の発達特徴や乳児保育の基礎的事項について概ね理解しているようだが、説明が不十分である。筆記試験での正答率が60%以上70%未満。	乳児期の発達特徴及び乳児保育の基礎的事項について、理解が不十分である。筆記試験での正答率が60%未満。
LO-2	乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を十分に身につけている。	乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法をほぼ身につけている。	乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を理解しているが、身につけていない。	乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を十分に理解していない。	乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を全く理解していない。
LO-3	乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察するとともに、適切に表明できる。	乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。	乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察しようとするが、その内容は不十分である。	乳児保育をめぐる社会状況を理解しているが、乳児保育の意義を自らの視点で考えることができない。	乳児保育をめぐる社会状況を理解してあらず、乳児保育の意義を考える姿勢がみられない。
LO-4	乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に積極的であり、発達支援のために活用しようとする意欲が十分である。	乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、発達支援に活用しようとしている。	乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努めているが、発達支援や実践技術への関連づけはない。	乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等に関心はあるが、十分に把握しようとする態度はみられない。	乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等への関心が低い。
LO-5	乳児の行動を共感的に理解し、他者と対話しながら、遊びや生活の支援方法を検討しており、その内容が優れている。	乳児の行動について、共感的理解に努めている。他者と対話しながら、遊びや生活の支援方法を検討できる。	乳児の行動について、共感的理解に努め、他者との対話を行うが、理解内容や支援方法の検討が、十分ではない。	乳児の行動を共感的に理解しようとする姿勢が不十分である。グループ活動において、他者との十分な協働が見られない。	乳児への共感的理解の姿勢がみられない。あるいは、他者と協働する姿勢がみられない。

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、現所属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	乳児保育	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレール館）『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「乳児の発達」「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察するとともに、その方法を検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えると同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	40			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2			15						15
LO-3	10		10						20
LO-4			10						10
LO-5			5			10			15
備考	その他 A は 授業態度 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期テストは模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	10分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	20分
第3回	乳児保育の記録 保育環境の構成 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の発達と物的・人的環境との関わりについて考える。	20分
第4回	乳児保育の記録 事例から発達や保育者の関わりのポイントを知る	
	【予習】課題プリントを完成する	20分
	【復習】発達表を確認する。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表資料の作成）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】自分のグループの発表準備を通して、新たに得た気づきをまとめる。	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表準備）	
	【予習】グループの発表資料完成及び発表内容の決定に向けて準備する。	10分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びをまとめる。	30分
第8回	乳児保育の実際 実習の振り返り（発表）	
	【予習】発表内容を自分の言葉でまとめておく。 課題シートの完成	15分
	【復習】他班の発表資料を確認し、学びを確認する。	30分
第9回	実習後の振り返り ; 実践を深める 乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェとヴィゴツキー 感覚運動期や発達の最近接領域と足場づくり）	
	【予習】実習日誌に目を通し、学びや疑問をまとめておく	30分
	【復習】ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」と「足場作りのポイント」についてまとめる。 課題シートを仕上げる。	30分
第10回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 愛着をめぐって	
	【予習】小テストのための学習準備をする。	40分
	【復習】授業内容の振り返り	20分

第11回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 当初予定は - 気質・障害をめぐって	
	【予習】教科書(基礎理論) 乳幼児期の心身の発達 3 人間関係の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】試験にむけて講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 親子をつなぐ遊びは次回	
	【予習】 家庭ですすめたい乳児の遊びを調べる。	20分
	【復習】授業内容の確認をする 授業評価アンケートの確認(試験期間終了まで)	20分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 当初予定は - 遊びの紹介	
	【予習】プリントを読んでおく これまでのまとめ	20分
	【復習】テストに向けて基礎用語の理解を行う。 親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。 第15回へ	20分
第14回	乳児保育における保育者のあり方 乳児の発達・指針内容についての小テスト	
	【予習】乳児保育における保育者のあり方について、自分の意見をまとめる。 小テストの準備	20分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。 小テストの内容の確認	20分
第15回	乳児保育で大切なこと(まとめ)	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。 試験に向けて学びをまとめる。	20分
	【復習】期末課題を仕上げる。 筆記試験の準備勉強をする。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	幼児期を見通した乳児の発達を理論的に十分に理解している。筆記試験での正答率が、90%以上。	幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解している。筆記試験での正答率が、80%以上90%未満。	幼児期を見通した乳児の発達を理解しているが理論的ではない。筆記試験での正答率が、70%以上80%未満。	幼児期を見通した乳児の発達理解が不十分である。筆記試験での正答率が、60%以上70%未満。	幼児期を見通した乳児の発達を、ほとんど理解していない。筆記試験での正答率が、60%未満。
LO-2	発達に合わせた教材製作が優れている。乳児への応答的な保育の方法を理解し、一部習得している。	発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的な保育の方法を理解し、一部習得している。	発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的な保育の方法を理解し、習得に努めている。	発達に合わせた教材を製作するが、技能的に未熟である。あるいは、乳児への応答的な保育方法を十分に理解していない。	発達に合わせた教材製作をしていない。あるいは応答的な保育をまったく理解していない。
LO-3	実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切に表明できる。また、自己省察・評価にすぐれている。	実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察するとともに、自己を省察・評価することができる。	実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察する点及び自己省察・評価を行う点のいずれか一方が不十分である。	実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察する点及び自己省察・評価を行う点のいずれも不十分である。	実習経験を自らの学びに活用する態度が見られない。
LO-4	「親子関係」の視点で乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点について、優れた考察をしている。	「親子関係」の視点で乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察することができる。	「親子関係」の視点で乳児期の保育をとらえているが、必要な支援や留意点の考察が不十分である。	乳児期の保育に必要な支援や留意点を考察しているが、「親子関係」の視点でとらえた内容がない。	乳児期の保育に必要な支援や留意点を考察しようとする態度が見られない。
LO-5	自らの実習経験を他者と共有し考察を深めると同時に、グループ内の協働によって、優れた発表を行っている。	自らの実習経験を他者と共有し、協働しながら、わかりやすく発表することができる。	自らの実習経験を他者と共有し、協働しながら発表しているが、考察が不十分である。	自らの実習経験を他者と共有しているが、協働しながら発表へとまとめる点で、課題がある。	自らの実習経験を他者と共有しようとする姿勢が見られない。

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史 河崎 美香						
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	社会福祉、子ども家庭福祉	後継科目	特別支援論						
関連科目	社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	特別支援教育を支える理念や制度、歴史の変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、特別の支援を必要とする子どもの理解と保育の在り方について考察する。インクルーシブ保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 特別支援教育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 特別の支援を必要とする子どもを含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ保育、特別支援学級、通級による指導、個別的教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症スペクトラム								
テキスト・ 参考書等	立花直樹・中村明美・松井剛太・井上和久編著 「障害児の保育・福祉と特別支援教育」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と特別支援教育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と特別の支援を必要とする子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			20	30		100
LO-1			10				5		15
LO-2			10			5	5		20
LO-3			10			5	10		25
LO-4			10			5	5		20
LO-5			10			5	5		20
備考	中間レポート20%、期末レポート30% その他のAは平常点(毎回の授業時の演習や小レポート及び受講態度等) Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等について説明) 特別支援教育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念が生まれた経緯、インクルーシブ保育とは何か	
	【予習】テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する	90分
第3回	身体面の支援が必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等	
	【予習】テキスト第2章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援が必要な子どもの援助について整理する	90分
第4回	感覚面の支援が必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援が必要な子どもに対する援助について整理する	90分
第5回	知的な面の支援が必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援が必要な子どもの援助について整理する	90分
第6回	愛着・コミュニケーション面の支援が必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーションに課題のある子どもの理解と保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する	90分
第7回	視覚面、聴覚面の支援が必要な子どもの理解と援助 視覚面、聴覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】視覚障害、聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害、聴覚障害について学んだことを整理する	90分
第8回	行動面・学習面の支援が必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン7を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する	90分
第9回	情緒面の支援が必要な子どもの理解と援助 情緒面の支援が必要な子どもの理解、場面緘黙、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン8を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、情緒面の支援が必要な子どもの援助について整理する	90分
第10回	個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価	
	【予習】テキスト第3章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する	90分

第11回	特別の支援を必要とする子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際	
	【予習】前回までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等	
	【予習】テキスト第3章 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援、障害受容、特別の支援を必要とする子どもを取り巻く家族の理解と支援	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する	90分
第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章を読む これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児期における障害に関する基礎知識と特別支援教育の理念や制度等について十分に理解している。	乳幼児期における障害に関する基礎知識と特別支援教育の理念や制度等についてほぼ理解している。	乳幼児期における障害に関する基礎知識と特別支援教育の理念や制度等についておおよそ理解している。	乳幼児期における障害に関する基礎知識と特別支援教育の理念や制度等についての最低限の理解はしているものの、不十分な点も見受けられる。	乳幼児期における障害に関する基礎知識と特別支援教育の理念や制度等について理解していない。
LO-2	特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を十分に習得している。	特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術をほぼ習得している。	特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術をおおよそ習得している。	特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する基礎的技術は身に付けたが不十分な点も見受けられる。	特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得していない。
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を十分に有している。	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座をほぼ有している。	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座をおおよそ有している。	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について発見に努め、対応の基本的事項は身に付けたが、的確な対応のできる視座の保有は不十分	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題についての発見や的確な対応のできる視座を有していない。
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に積極的に努める	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために学習に取り組みが消極的である。	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題について最低限の把握はしているが、課題解明のための学習の取組と合致していない点が見受	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題の把握も、課題解明のため学習もできていない。
LO-5	豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに十分な対応をすることができる。	豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。	人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度の習得を見につけ、愛情と感性をもって子どもに対応しようとしている。	人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度の習得に不十分な点があり、子どもへの対応に不安な点も見受けられる。	人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけていない。よって、子どもに適切に対応することができない。

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	おはながわらった オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。 L: ぶんぶんぶん	10分
	【復習】ぶんぶんぶん楽譜 授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	スマホ、PC両方からアクセスOK YouTube おうちでピアノレッスン	
	【予習】ちょうちょう楽譜 L: ちょうちょう	30分
	【復習】L: ぶんぶんぶん	20分
第3回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちょうちょう1 ちょうちょう2	
	【予習】L: メリーさんの羊	30分
	【復習】L: ちょうちょう	20分
第4回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 メリーさんの羊1 メリーさんの羊2	
	【予習】L: きらきらぼし	30分
	【復習】L: メリーさんの羊	20分
第5回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 きらきらぼし1 きらきらぼし・3拍子	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L: きらきらぼし	20分
第6回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】 L: ちゅうりっぷ	30分
	【復習】 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちゅうりっぷ(プリントの楽譜)	
	【予習】 L: ぞうさん	30分
	【復習】 L: ちゅうりっぷ	20分
第8回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ぞうさん(テキスト)	
	【予習】 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】 L: ぞうさん	20分
第9回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おつかいありさん(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん(プリント)	
	【予習】L: おはながわらった(プリント)	30分
	【復習】L: おつかいありさん(プリント)	20分

第11回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おはながわらった(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L: おはながわらった(プリント)	20分
第12回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おもいでアルバム(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おもいでアルバム(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】L: おもいでアルバム	20分
第14回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: 実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	まとめ L: 実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。	10分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	楽典を十分理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をほぼ理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をおおむね理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典を理解していない。	楽典をほとんど理解していない。
LO-2	正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	ほぼ正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	おおむね正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	やや音程やリズムがずれる。	音程やリズムが完全にずれている。
LO-3	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほぼ知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をおおむね知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚していない。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほとんど知覚していない。
LO-4	幼児の歌に関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもっているが、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心があまりみられず、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心が低く、学習意欲が見られない。
LO-5	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加し、周囲の音も感じ取り合わせられる。	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加しようとする。	グループやペアでの合唱や演奏では積極性がみられず受動的である。	グループやペアでの合唱や演奏ではやや依存的である。	グループやペアでの合唱や演奏に参加しようとする姿勢がみられない。

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】おはながわらった楽譜 おはながわらった	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	おはながわらった楽譜 YouTube おうちでピアノレッスン動画	
	【予習】こいのぼり楽譜 L: こいのぼり テキストp.152	30分
	【復習】L: おはながわらった テキストp.139	20分
第3回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 こいのぼり	
	【予習】小鳥のうた楽譜 L: 小鳥のうた テキストp.152	30分
	【復習】L: こいのぼり テキストp.152	20分
第4回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 小鳥のうた	
	【予習】パスワード: Piano4 L: ぞうさん テキストp.161	30分
	【復習】L: 小鳥のうた テキストp.152	20分
第5回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 ぞうさん(テキスト)	
	【予習】L: にじのむこうに テキストp.176	30分
	【復習】L: ぞうさん テキストp.161	20分
第6回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 にじのむこうに	
	【予習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】 L: にじのむこうに テキストp.176	20分
第7回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 しゃぼんだま	
	【予習】 L: うみ テキストp.135	30分
	【復習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	20分
第8回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 うみ	
	【予習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】 L: うみ テキストp.135	20分
第9回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 とんでったバナナ	
	【予習】 L: サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	20分
第10回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 サッチャン	
	【予習】 L: たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】 L: サッチャン テキストp.155	20分

第11回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 たなばたさま	
	【予習】 L : かわいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】 L : たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 かわいいかくれんぼ	
	【予習】 L : 山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】 L : かわいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 山の音楽家	
	【予習】 L : おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】 L : 山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん	
	【予習】 L : 犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】 L : おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 犬のおまわりさん	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】 S : 自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L : 犬のおまわりさん テキストp.132	10分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	楽典を十分理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をほぼ理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をおおむね理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典を理解していない。	楽典をほとんど理解していない。
LO-2	正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	ほぼ正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	おおむね正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	やや音程やリズムがずれる。	音程やリズムが完全にずれている。
LO-3	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほぼ知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をおおむね知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚していない。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほとんど知覚していない。
LO-4	幼児の歌に関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもっているが、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心があまりみられず、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心が低く、学習意欲が見られない。
LO-5	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加し、周囲の音も感じ取り合わせられる。	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加しようとする。	グループやペアでの合唱や演奏では積極性がみられず受動的である。	グループやペアでの合唱や演奏ではやや依存的である。	グループやペアでの合唱や演奏に参加しようとする姿勢がみられない。

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチャーパー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラ <u>のうた</u> ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分

第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	60分
	【復習】これまでに習った曲を全て振り返る	90分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】	90分
	【復習】	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	楽典を十分理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をほぼ理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をおおむね理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典を理解していない。	楽典をほとんど理解していない。
LO-2	正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	ほぼ正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	おおむね正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	やや音程やリズムがずれる。	音程やリズムが完全にずれている。
LO-3	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほぼ知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をおおむね知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚していない。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほとんど知覚していない。
LO-4	幼児の歌に関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもっているが、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心があまりみられず、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心が低く、学習意欲が見られない。
LO-5	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加し、周囲の音も感じ取り合わせられる。	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加しようとする。	グループやペアでの合唱や演奏では積極性がみられず受動的である。	グループやペアでの合唱や演奏ではやや依存的である。	グループやペアでの合唱や演奏に参加しようとする姿勢がみられない。

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチャー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラ <u>のうた</u> ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分

第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	楽典を十分理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をほぼ理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典をおおむね理解して歌ったり演奏したりすることができる。	楽典を理解していない。	楽典をほとんど理解していない。
LO-2	正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	ほぼ正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	おおむね正確な音程やリズムで表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	やや音程やリズムがずれる。	音程やリズムが完全にずれている。
LO-3	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほぼ知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をおおむね知覚している。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型を知覚していない。	音楽を形づくっている音程、リズム、音型をほとんど知覚していない。
LO-4	幼児の歌に関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもち、歌うことやピアノの学習に主体的に取り組もうとしている。	幼児の歌にやや関心をもっているが、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心があまりみられず、歌うことやピアノの学習に対して受動的である。	幼児の歌への関心が低く、学習意欲が見られない。
LO-5	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加し、周囲の音も感じ取り合わせられる。	グループやペアでの合唱や演奏に積極的に参加しようとする。	グループやペアでの合唱や演奏では積極性がみられず受動的である。	グループやペアでの合唱や演奏ではやや依存的である。	グループやペアでの合唱や演奏に参加しようとする姿勢がみられない。

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	乳幼児における造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感覚や技術を身につけます。材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	乳幼児の造形表現活動を豊かに展開するために必要となる、基礎的な知識や技術を実践的に習得する。造形表現活動に適した、用具及び素材や教材等の特性を理解し、それらの活用や作成に必要な知識や技術を身に付ける。								
キーワード	表現 感性 想像 創造 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」横 英子 著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について	
	【予習】教科書に目を通し、学習内容を大まかに把握する。	30分
	【復習】	0分
第2回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類 色や形の心理、調和 描画材・紙とあそぶ	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで色の属性や分類について確認する。色の視認性を効果的に表現した配色を考える。 ワークシート提出	30分
第3回	色彩と形体： 色水あそび ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで「造形遊び」のねらいや意義について確認する。	30分
第4回	素材の種類と特性 基底材（紙について） 描画材について 描画材・紙であそぶ ワークシート提出	
	【予習】教科書P50～67を読み、描画材や紙に関する特性を知る。	30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。	30分
第5回	素材の種類と特性 製本：ことばで表す各ページから受け取った感じや感覚を言葉（オノマトペ）で書きこむ	
	【予習】	0分
	【復習】完成作品（絵本）・レポート提出。	50分
第6回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第7回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第8回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング・パブルペインティング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第9回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 作品技法ノート提出	
	【予習】	0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し製作を振り返るとともに、展示したお互いの作品を評価し合う。	40分
第10回	小麦粉・片栗粉粘土 感触を楽しむ	
	【予習】	0分
	【復習】感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。 振り返りシート提出	30分

第11回	色・形・感触を楽しむ：スライム作り	
	【予習】	0分
	【復習】 感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。 振り返りシート提出	30分
第12回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを知る。	
	【予習】	0分
	【復習】 紹介された仕掛けを参考にして、構想を考えておく。	40分
第13回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みのアイデアスケッチをする。	
	【予習】	0分
	【復習】 自己紹介の画面構成やストーリーを下絵にまとめる。	40分
第14回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを作る。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる絵本を完成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 夏期休業中に完成させて提出	230分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	造形表現（色彩・形体・構成・素材・用具・技法）に関する基礎的な用語や知識を十分に理解している。	造形表現（色彩・形体・構成・素材・用具・技法）に関する基礎的な用語や知識を理解している。	造形表現（色彩・形体・構成・素材・用具・技法）に関する基礎的な用語や知識をおおむね理解している。	造形表現（色彩・形体・構成・素材・用具・技法）に関する基礎的な用語や知識を理解する努力が必要である。	造形表現（色彩・形体・構成・素材・用具・技法）に関する基礎的な用語や知識を理解する努力が大いに必要である。
LO-2	表現の意図を大切に、材料や用具、技法などの特性を生かして、効果的な表現方法を十分工夫している。	表現の意図を大切に、材料や用具、技法などの特性を生かして、効果的な表現方法を工夫している。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を意識して、表現方法を工夫している。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を確認して、表現方法の工夫に取り組む必要がある。	表現の意図をもち、材料や用具、技法などの特性を十分に確認して、表現方法の工夫を意識して取り組む必要がある。
LO-3	色や形、構成などを工夫し、自身の感性や想像力を十分に働かせて創造的な表現の組み立てをよく考えている。	色や形、構成などを工夫し、自身の感性や想像力を働かせて創造的な表現の組み立てを検討している。	色や形、構成などを考え、自身の感性や想像力を基に表現の組み立てを検討している。	色や形、構成などを考え、自身の感性や想像力を基にして、表現の組み立てに取り組もうとする努力が必要である。	色や形、構成などに関心をもち、自身の感性や想像力を大切に、表現の組み立てに取り組もうとする努力が大いに必要である。
LO-4	乳幼児の造形表現活動に強く関心をもち、主体的に造形活動や鑑賞に取り組み、楽しく創造的な表現活動に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組み、楽しく創造的な表現活動に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、楽しく造形活動や鑑賞に取り組んでいる。	乳幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組もうとする努力が必要である。	幼児の造形表現活動に関心をもち、造形活動や鑑賞に取り組もうとする努力が大いに必要である。
LO-5	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を十分受け止めて、積極的にコミュニケーションをとって活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を受け止めて、積極的に活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方を受け止めて、活動に取り組んでいる。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などで、他者の良さや考え方に耳を傾け、活動に取り組む努力が必要である。	共同製作や話し合い、作品鑑賞などに参加し、他者の良さや考え方に耳を傾け、活動に取り組む努力が大いに必要である。

授業科目名	子どもの運動			科目コード	C145-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現	担当教員名	塩見 一成						
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	運動と健康	後継科目	子どもと健康、保育内容「健康」						
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れを通して、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作 アレンジ								
テキスト・ 参考書等	テキスト：倉・大森 編 『子どもが育つ運動遊び』 みらい 参考書：岩崎祥子 編 『保育と幼児期の運動遊び』 萌文書林、宇野文博 『新版 遊びの指導』 同文書院								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導にいかすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し、仲間と協同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	40		30	10			100
LO-1		10	10						20
LO-2			10						10
LO-3			20		10				30
LO-4		10			10				20
LO-5					10	10			20
備考	レポートは、課題に対する理解度および内容から総合的に判断。成果発表については、プログラムの企画運営と、プログラムへの積極的な参加及び集団援助技術を評価。 小テストはテキスト理論編より出題。LO5については、保育者として基本となる明るく生き生きとした態度での参加を重視。その他Aについては、グループ活動での参加態度やディスカッション時の発言を評価。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） グループ編成（運動の必要性について）	
	【予習】シラバスに目を通し、授業内容を把握する。	15分
	【復習】持ち物 レポート 評価方法について確認する。運動の必要性について自分の考えをまとめる。	15分
第2回	運動遊びの実践（1） 準備運動、ごっこ遊び	
	【予習】テキストP.20～24を読む。各グループで担当した内容を指導できるように練習する。	15分
	【復習】運動遊び（準備運動）の実践を振り返り、次回に活かすための検討しと整理。	20分
第3回	子どもにとっての運動遊び（1）	
	【予習】テキストP.2～4を読む。	15分
	【復習】子どもにとっての運動遊びについて、自分の考えを整理する。	20分
第4回	運動遊びの実践（2）フープを使った遊び 基本の動き	
	【予習】テキストP.34～35を読む。フープについての理解を深める。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉かけを考える。フープ遊びの安全配慮について考える。	20分
第5回	子どもにとっての運動遊び（2）	
	【予習】テキストP.5～9、P.16～17を読む。	15分
	【復習】運動学の理論（動きの分析、動きの発生など）についてまとめ、理解を深める。	20分
第6回	運動遊びの実践（3）フープを使った遊び 縄跳び遊びへの展開方法について	
	【予習】フープと縄、各2種類（合計4種類）の運動遊びを準備する。	15分
	【復習】授業での内容を年齢別にアレンジする方法を考える。フープや縄遊びの安全の配慮について考える。	20分
第7回	子どもにとっての運動遊び（3）	
	【予習】テキストP.10～16を読む。	15分
	【復習】指導計画の立案、作成についてまとめる。運動遊びの実践のために、進め方や言葉かけ、年齢別によるアレンジ法を考える。	30分
第8回	運動遊びの実践（4）乳幼児期の動きの体験	
	【予習】乳幼児期の子どもの発育段階について確認する。	15分
	【復習】本時の体験から、乳幼児の立場に立った保育について考えをまとめる。	30分
第9回	運動遊びの実践（5）パラバルーンを使った運動の実践 基本の動きと創作活動	
	【予習】テキストP.60～70を読む。パラバルーンの基本操作を確認する。	15分
	【復習】パラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。	30分
第10回	運動遊びの実践（6）パラバルーンを使った運動の実践 創作活動（一連の動きにまとめて構成する。）	
	【予習】創作した内容を復習し、覚える。その他、動きのアイデアを考える。	15分
	【復習】演技の内容を記録して覚える。共通理解された演技内容、効果的な声かけや合図のタイミングを再度確認して覚える。	60分

第11回	運動遊びの実践(7) バラバルーンを使った運動の実践 バラバルーン演技の発表	
	【予習】演技の内容を再確認する。	15分
	【復習】他のグループや自らのグループの演技の良さ、改善点について、感想レポートにまとめて提出。	20分
第12回	運動遊びの実践(8) ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)と指導計画	
	【予習】ACPについて調べる。	15分
	【復習】自分が実践できそうなACPを整理してまとめる。	20分
第13回	運動遊びの実践(9) 季節の遊び、雪遊び	
	【予習】雪遊びに必要な身支度、道具などを準備する。	15分
	【復習】雪遊びの意義と特徴についてまとめ、各年齢でどのような雪遊びが楽しめるのかを検討する。	20分
第14回	運動遊びの実践(10) 季節の遊びを運動遊びにアレンジして行う	
	【予習】お正月の遊びを調べる。(羽子板、いろはかるたなど)準備できるものは準備して実践する。	15分
	【復習】遊び方、援助の仕方をまとめ、記録する。	20分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの遊びを振り返る。得意とする運動遊びを1つ準備する。	15分
	【復習】後期の内容を振り返り、現場での実践に役立てるために整理してまとめる。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児期の運動遊びの意義について十分に理解しており、この時期に経験すべき運動遊びを体系的に理解している。	乳幼児期の運動遊びの意義について理解しており、この時期に経験すべき運動遊びを体系的に理解している。	乳幼児期の運動遊びの意義について理解しており、この時期に経験すべき運動遊びを理解している。	乳幼児期の運動遊びの意義、この時期に経験すべき運動遊びについて、いずれかの理解が不十分である。	乳幼児期の運動遊びの意義とこの時期に経験すべき運動遊びについて、いずれも理解が不十分である。
LO-2	「操作系動作」「移動系動作」「平衡系動作」の基本的運動技能を十分に獲得している。技能のポイントを理解し、他者への指導実践にいかせる。	「操作系動作」「移動系動作」「平衡系動作」の基本的運動技能をほぼ獲得している。技能のポイントを理解し、他者への指導実践にいかせる。	「操作系動作」「移動系動作」「平衡系動作」の基本的運動技能の獲得が一部不十分である。技能のポイントを理解している。	「操作系動作」「移動系動作」「平衡系動作」の基本的運動技能の獲得が一部不十分である。技能のポイントの理解が不十分である。	「操作系動作」「移動系動作」「平衡系動作」の基本的運動技能を獲得しようとする意欲が不足し、技能の獲得もポイントの理解もしていない。
LO-3	ねらいに応じて、運動遊びの内容や指導上の配慮を適切に考えることができる。	ねらいに応じて、運動遊びの内容や指導上の配慮を具体的に考えることができる。	ねらいに応じて、運動遊びの内容や指導上の配慮を自分なりに考えることができる。	ねらいに応じた運動遊びの内容、指導上の配慮についての考えが不十分である。	ねらいに応じた運動遊びの内容や指導上の配慮について考えることができない。
LO-4	幼児の生活や遊びの現状、発達段階をふまえて、運動遊びの内容や援助の方法を工夫することができる。	幼児の発達段階をふまえて、運動遊びの内容や援助の方法を工夫することができる。	幼児の発達段階をふまえて、運動遊びの内容を工夫することができる。	幼児の発達段階と運動遊びの内容の関連させて考えることが不十分である。	幼児の発達段階と運動遊びの内容の関連させて考えられていない。
LO-5	ペアやグループ活動を積極的にリードし、安全に楽しく活動に取り組める。実技課題に対して仲間と助言しあうなど技能の獲得に意欲的に取り組んでいる。	ペアやグループ活動で仲間と協調して活動に取り組める。実技課題に対して仲間と助言しあうなど技能の獲得に意欲的に取り組んでいる。	ペアやグループ活動で仲間と協調して活動に取り組める。	ペアやグループ活動で仲間との協調性がやや不足するものの、最後まで活動に取り組める。	ペアやグループ活動で仲間との協調性が不足し、最後まで活動に取り組むことができない。

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 石動 瑞代 松居 紀久子 嶋野 珠生 四杉 昭康					
実務経験	幼稚園で9年、保育園で4年、幼稚園教諭及び保育士として勤めていた経験をもとに、幼稚園教諭二種免許状取得に必要な知識と技術を身につけられるよう、実践的な授業を展開する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	基礎演習 (知識)『幼稚園教育要領』		後継科目	教育実習、教育実習指導					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	<p>本学付属みどり野幼稚園で実習を行う(ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり)。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。</p>								
学習目標	この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。								
キーワード	付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案								
テキスト・ 参考書等	<p>幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。								
LO-2	【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身についている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。</p> <p>右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：実習</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学科主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	実習研究 記録の書き方を理解する	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』を読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第3回	幼稚園主催オリエンテーション(副園長先生の講話)、園見学	
	【予習】教育実習 資料に目を通しておく。	30分
	【復習】	0分
第4回	観察実習(1)	
	【予習】体調を整え、実習初日の目標(めあて)をたてる。	20分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第5回	観察実習(2)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第6回	観察実習(3)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第7回	観察実習(4)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第8回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第9回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第10回	実習研究 参加実習の反省会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	実習研究 指導案の書き方1	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第12回	実習研究 指導案の書き方2	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第13回	実習研究 指導案の書き方3	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第14回	【夏季休業中9月】参加実習（指導案あり） 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】・実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。1日1枚×4日分 ・指導案の考察欄に記入する。	500分
第15回	実習反省会 9月に実習した指導案を見直し、振り返りを行う。	
	【予習】指導案を見返しておく。	30分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	幼稚園からの評価表の内容が特に優れている	幼稚園からの評価表の内容が特に良い	幼稚園からの評価表の内容が良い	幼稚園からの評価表の内容が普通	幼稚園からの評価表の内容が劣る
LO-2	幼稚園からの評価表の内容が特に優れている	幼稚園からの評価表の内容が特に良い	幼稚園からの評価表の内容が良い	幼稚園からの評価表の内容が普通	幼稚園からの評価表の内容が劣る
LO-3	実習日誌がとても丁寧に記入されており、論理的な考察と自らの省察がしっかりできている	実習日誌が丁寧に記入されており、論理的な考察と自らの省察ができている	実習日誌はそれなりに記入されているが、考察や省察の深まりがもう少し必要	実習日誌の内容が普通。考察や省察が浅い	実習日誌が乱雑で読みにくく考察が感想で終わっている
LO-4	幼稚園からの評価表の内容が特に優れている	幼稚園からの評価表の内容が特に良い	幼稚園からの評価表の内容が良い	幼稚園からの評価表の内容が普通	幼稚園からの評価表の内容が劣る
LO-5	幼稚園からの評価表の内容が特に優れている	幼稚園からの評価表の内容が特に良い	幼稚園からの評価表の内容が良い	幼稚園からの評価表の内容が普通	幼稚園からの評価表の内容が劣る

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 明柴 聡史 塩見 一成 日光 恵利					
実務経験	保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	基礎演習		後継科目	保育実習指導					
関連科目	保育実習 - 1 保育実習 - 2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1(保育所)」「保育実習 -2(施設)」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組みようにする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、特別講義も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説』厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能・表現】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌を書くことができる								
LO-3	【思考・判断】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【社会性・人間性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			16			4			20
LO-2			16			4			20
LO-3			16			4			20
LO-4			16			4			20
LO-5			16			4			20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習 -1及び -2を受けることはできない。「保育実習指導」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得が前提となる。成績評価は、保育実習 -1(40%)、保育実習 -2(40%)の各レポート、事前・事後報告書(20%)により評価する。(評価は、2年前期の成績に記載)グループワーク、フィールドワーク(施設見学)、実習、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 2年間の実習の流れと保育実習指導 の位置づけ	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習の概要を確認する	45分
第2回	保育所の一般的理解 ○富山県の保育所・認定こども園の現状	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を整理する。	30分
第3回	○『保育所保育指針』の構造と内容	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	60分
第4回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（1）エピソード記録	
	【予習】 『実習日誌の書き方』PP. 20-23を読んでおく。 教育実習 の日誌を1日分を持参する。	45分
	【復習】 教育実習 の実習日誌（1日分）を手直しする。	45分
第5回	○保育所の生活とデイリープログラム	
	【予習】	45分
	【復習】 演習課題(3歳未満児のデイリープログラムにそって、保育士の仕事を書き出してみましょう。)	45分
第6回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（2）流れ記録	
	【予習】 『実習日誌の書き方』から、未満児実習の流れ記録の例を探し、読んでおく。	45分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	45分
第7回	○児童福祉施設等での自主実習について 学外実習の心構え	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	45分
第8回	○保育所以外の児童福祉施設の一般的理解	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	45分
第9回	○富山県の児童福祉施設の現状	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	45分
第10回	○施設及び施設保育士の職務内容について	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを整理し、理解を深める。	45分

第11回	○自主実習に向けて『学外実習の手引き』	
	【予習】	0分
	【復習】自主実習の計画を立てる。	45分
第12回	○2年生との実習連絡会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	○保育実習 - 1オリエンテーション(1)	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料等を整理し、2つのバインダーに綴じる。	45分
第14回	○保育実習 - 1オリエンテーション(2)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	○保育実習 - 1事前報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】「事前報告書」「事前訪問・打ち合わせレポート」を作成しておく。	90分
	【復習】実習の目当て等記入し、実習書類を完成させる。	30分
第16回	○特別講義 「保育所保育の概要と実習生のあり方」富山市立福島保育所長 下村 寿美 先生	
	【予習】これまでの実習指導を振り返り、不明な点を把握しておく。	30分
	【復習】講義で配布された資料を見直し、理解を深める。	30分
第17回	○実習日誌、指導案について	
	【予習】実習日誌等で不明な点がないか確認する。	15分
	【復習】日誌の書き方を再度確認しておく。	45分
第18回	保育実習 - 1直前学修 書類等のチェック 日誌の書き方等の確認	
	【予習】実習関係書類が実習ファイルに綴じられていることを確認しておく。	30分
	【復習】準備した教材等を使えるようにしておく。	45分
第19回	○保育実習 - 1振り返り 振り返りワークシート、レポート作成	
	【予習】実習日誌を読み直し、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】レポートを完成させる。	45分
第20回	○保育実習 - 1事後報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】事後報告書の必要な手直しを行う。	15分
	【復習】実習レポート、実習日誌を整え提出する。	45分

第21回	○保育実習 -2オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回	○特別講義（1）児童養護施設 「要保護児童の支援と保育者の役割」ルンビニ園 黒田 恵美	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回	○学びの振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回	○特別講義（2）障害者支援施設 「障害者支援と保育者の役割」施設保育士（生活支援員）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第25回	○学びの振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第26回	特別講義（3）福祉型児童発達支援センター 「障害児入所施設の機能と役割」 富山市恵光学園 澤井 愛海	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第27回	○学びの振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】 特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める。	0分
第28回	○保育実習 -2 事前指導（1） 2年生からのガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第29回	○保育実習 -2 事前指導（2） 配布物等確認、諸連絡	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第30回	○保育実習 -2 事前報告（実習個別指導担当教員）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について十分理解しており、レポートに的確にまとめ反映されている	保育所や児童福祉施設の目的と概要について理解しており、レポートに正確に反映されている	保育所や児童福祉施設の目的と概要についておおそ理解しており、レポートに反映されている	保育所や児童福祉施設の目的と概要についての理解が不十分で、レポートに反映されていない	保育所や児童福祉施設の目的と概要について理解されておらず、レポートに誤った記述がある
LO-2	実習日誌の書き方を十分理解し、的確に作成できている	実習日誌の書き方を理解し、作成できている	実習日誌を作成しているが、書き方の不理解が散見される	実習日誌を作成しているが、書き方が理解されていない	実習日誌が作成されていない
LO-3	保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題が的確に把握されており、論理的に考察できている	保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題が把握されており、論理的に考察できている	保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題がおおよそ把握できているが、考察が一般的・抽象的である	保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題の把握・考察が不十分である	保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題の把握・考察ができていない
LO-4	実習施設と入所者・子どもを取り巻く環境に強い関心を持ち、適切な援助の方法を考えることができる	実習施設と入所者・子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を考えることができる	実習施設と入所者・子どもを取り巻く環境への関心が弱く、援助の方法が一般的である	実習施設と入所者・子どもを取り巻く環境への関心が弱く、援助の方法が考えられていない	実習施設と入所者・子どもを取り巻く環境への関心がみられない
LO-5	実習の心構えを十分理解し、真摯に実習に取り組んでいる	実習の心構えを理解し、実習にまじめに取り組んでいる	実習に対する心構え・態度に不十分なところが散見される	実習に対する心構え・態度が不十分である	実習に対する心構え・態度が習得されていない

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	日光 恵利 中山 里美					
実務経験	神戸市職員として保育所に25年間勤務した。保育所における乳幼児の実際の生活を踏まえた環境構成と遊びの指導、保育者の援助について解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児の発達過程を十分理解し、生活と遊びについての基本的知識を有している。	乳幼児の発達過程を理解し、生活と遊びについての基本的知識を有している。	乳幼児の発達過程の理解、生活と遊びについての知識、のいずれかがやや不十分である。	乳幼児の発達過程の理解、生活と遊びについての知識、のいずれもがやや不十分である。	乳幼児の発達過程の理解がされず、生活と遊びについての知識が不十分である。
LO-2	乳幼児の興味関心に合わせて、親和的に関わるができる。	乳幼児の興味関心をとらえて、自分から関わるができる。	乳幼児の興味関心をとらえて関わるのがやや不十分である。	乳幼児の興味関心のとらえ方が不十分で、関わりが消極的である。	乳幼児の興味関心をとらえられず、関わりが希薄である。
LO-3	個々の乳幼児の状態を十分に把握し、適切な援助が行える。	個々の乳幼児の状態を把握し、援助が行える。	個々の乳幼児の状態の把握、適切な援助、のいずれかがやや不十分である。	個々の乳幼児の状態の把握、適切な援助、のいずれもがやや不十分である。	個々の乳幼児の状態が把握されず、援助が不適切である。
LO-4	実習の目当てが非常に明確で、積極的に指導・助言を求めることができる。	実習の目当てが明確で、自ら指導・助言を求めることができる。	実習の目当てが一般的・抽象的で、自分から指導・助言を求めることが少ない。	実習の目当てが不明確で、自分から指導・助言を求めることが少ない。	実習の目当てがたてられず、指導・助言を求めることがない。
LO-5	基本的なマナーが十分身につけており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。	基本的なマナーと正しい言葉づかいを心がけて行動することができる。	基本的なマナー、正しい言葉づかい、のいずれかがやや不十分である。	基本的なマナー、正しい言葉づかい、のいずれもがやや不十分である。	基本的なマナーが身につけておらず、言葉づかいが不適切である。

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 塩見 一成					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が児童福祉施設の機能と役割について								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習指導		後継科目	保育実習					
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20% 右記のアクティブラーニングを半分以上実施します：実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初回オリエンテーション 学内実習と学外実習の位置づけについて 新型コロナ対策を踏まえた実習の在り方について	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第2回	福祉用具の使い方	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第3回	責任実習の実施計画の作成	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第4回	初日オリエンテーション(学外の社会福祉施設での実習第4回～第12回) 2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、社会福祉施設での学外実習を6日間とする。	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第5回	職員の役割の理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第6回	一日の流れの理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第7回	職員のかかわりを観察し、自らも実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第8回	対象者に合わせた援助を実践する 中間反省会	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】前半の反省を行い、後半の課題を抽出する。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第9回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第10回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分

第11回	責任実習として、レクリエーション等を計画し実践する。	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】責任実習の振り返り・評価考察をし、自己課題を明らかにする。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第12回	実習のまとめ、反省会・実習後協議	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分
第13回	学外実習の振り返り、事例検討	
	【予習】健康チェック、事例準備、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】事例の考察、グループの意見の整理	0分
第14回	事例検討	
	【予習】健康チェック、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】事例の考察、グループの意見の整理	0分
第15回	事例検討、実習のまとめ、実習報告書の作成	
	【予習】健康チェック、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	対象児(者)の発達や生活に関する基本的な用語を理解し、知識を十分に有している	対象児(者)の発達と生活に関する基本的な用語を理解し、知識を有している	対象児(者)の発達と生活に関する基本的な用語や知識をおおむね理解している	対象児(者)の発達と生活・遊びに関する基本的な用語と知識が正しく理解されていない部分が見られる	対象児(者)の発達と生活に関する基本的な用語と知識が理解されていない
LO-2	親しみをもって対象児(者)に関わり、環境設定や保健・安全面での配慮が十分にできている	親しみをもって対象児(者)に関わり、環境設定や保健・安全面での配慮ができている	対象児(者)に関わり、環境設定や保健・安全面での配慮がおおむねできている	対象児(者)への関わりが弱く、環境設定や保健・安全面での配慮が十分ではない	対象児(者)に関わろうとせず、環境設定や保健・安全面での配慮ができていない
LO-3	個々の対象児(者)を具体的に理解し、適切な援助の方法を十分に考察できている	個々の対象児(者)を理解し、適切な援助の方法を考察できている	個々の乳幼児の理解と援助の方法がおおむね考察できている	個々の対象児(者)理解と援助の方法の考察が一般的・抽象的である	個々の対象児(者)の理解と援助の方法が考察できていない
LO-4	実習に主体的・積極的に取り組み、実習日誌の記述が的確にできている	実習に主体的・積極的に取り組み、実習日誌が基本的に記述できている	実習に積極的に取り組み、実習日誌がおおむね記述できている	実習に取り組むが、実習日誌に記述できていない部分が見られる	実習への取り組み姿勢、実習日誌の作成に大きな課題を残す
LO-5	時間や規則を十分に守るとともに、常に正しいマナーや言葉づかいで職員や保護者と接することができる	時間や規則を守るとともに、正しいマナーや言葉づかいで職員等と接している	時間や規則を守ったり正しいマナーや言葉づかいができるよう心がけている	時間や規則を守ること、正しいマナーや言葉づかいができるよう心がけることに課題を残す	時間や規則が守られなかったり、マナーや言葉づかいに大きな課題を残す

授業科目名	運動と健康			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大門 信吾					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連									
授業の概要	健康と体力、トレーニング、スポーツに関する講義を通して、運動と健康・体力の関連について理解を深めるとともに、高齢化の進展や生活習慣病の蔓延が著しい現代社会において、健康で豊かな生活を築き上げるために運動やスポーツの持つ意義や役割について考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から理解するとともに、個人の健康・体力づくりに適合した運動処方の理論や内容、運動の仕方を具体的に示すことができるようになること。								
キーワード	健康・体力づくり、生活習慣病、運動処方								
テキスト・ 参考書等	参考書：宇土正彦(1996)「教養としての保健体育」大修館書店								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。運動と健康の関連や体力づくりのメカニズム、トレーニング理論を理解している。個人の健康・体力づくりに適合した運動処方の理論や内容、								
LO-2									
LO-3	健康や体力に関する諸課題を発見し、関連する知識や情報を分析して考察することができる。								
LO-4	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、自分の改善策をレポートすることができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60	40						100
LO-1		60							60
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5									
備考	毎回の小テストは提出後の授業において模範解答を解説する。期末レポートのテーマ例や作成方法を解説する。期末レポートの評価等フィードバックについては個別に担当教員に問い合わせること。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します。：小テスト								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	幼児 3組・運動と健康 1 幼児 4組・運動と健康 1 子どもの体力向上のためにオリエンテーション、健康と体力の概念、体力テストの目的・内容、青少年の体力の年次推移、小テスト 1 小テスト1は授業終了時に回収する。	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	40分
	【復習】授業の評価方法を理解する。体力の概念を理解し、体力の分類や構成要素を確認する。体力テストで評価される体力要素を理解する。	60分
第2回	幼児 運動と健康 2 体力不足の今日的要因、疾病傾向から見た現代の健康状況、国民の健康・体力問題、小テスト2 小テスト2は授業終了時に回収する。	
	【予習】高度経済成長以前と以後のライフスタイルの変化について調べる。発育発達と体力の関係について調べる。	60分
	【復習】現代の社会背景や国民の傷病の現状を確認する。現代における健康・体力づくりの意義について理解する。	60分
第3回	幼児 運動と健康 3 身体的、精神的、社会的健康に寄与する運動・スポーツの調査・研究結果の解説、小テスト3 小テスト3は授業終了時に回収する。	
	【予習】運動やスポーツが健康に及ぼす影響について調べる。	60分
	【復習】講義内容を踏まえ、運動やスポーツが健康に及ぼす影響について理解を深める。	60分
第4回	幼児 運動と健康 4 体力トレーニングの基本原則、筋機能、呼吸循環機能、小テスト4 小テスト4は授業終了時に回収する。	
	【予習】体力の向上について調べる。	60分
	【復習】体力が向上するとは具体的に筋機能や呼吸循環機能がどのように変化するかを理解する。	60分
第5回	幼児 運動と健康 5 体力の測定、トレーニングの原理・原則、DVD：トレーニングの科学、小テスト5 小テスト5は授業終了時に回収する。	
	【予習】トレーニングの原理・原則を調べる。	60分
	【復習】トレーニングの原理・原則と代表的なトレーニング方法を理解する。	60分
第6回	幼児 運動と健康 6 と 7 運動処方必要性、運動処方の定義、運動処方の手順、小テスト6 小テスト6は授業終了時に回収する。	
	【予習】一般人の運動を用いた健康づくりについて調べる。	60分
	【復習】生活習慣病の予防となる運動の仕方について理解する。	60分
第7回	幼児 運動と健康 6 と 7 運動処方の実際、筋能力・全身持久力の運動処方内容、小テスト7 小テスト7は授業中に配布し終了後、回収する。	
	【予習】適度な運動の具体的内容について調べる。これまでの講義を踏まえ、興味ある期末レポート課題を考える。	60分
	【復習】全身持久力の運動処方について深く理解する。ウエイトトレーニングの概要について理解する。	60分
第8回	幼児 運動と健康 8 (最終) 運動処方に関する補足、望ましい運動の仕方、DVD：スポーツ医学、小テスト8 小テスト8は授業終了時に回収する。	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味ある期末レポート課題を考える。	90分
	【復習】1 運動と健康期末レポート (幼児 3組)	440分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。運動と健康の関連や体力づくりのメカニズム、トレー	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。運動と健康の関連や体力づくりのメカニズム、トレー	現代社会の特徴を捉え、運動の必要性を理解している。トレーニング理論を理解している。個人の健康・体力づくりに適合した運動処方	現代社会の特徴や運動の必要性を理解している。運動と健康の関連を理解している。個人の健康・体力づくりに適合した運動処方の理論に不	講義内容に不
LO-2					
LO-3	レポート課題において健康や体力に関する諸課題に対して、知識や情報を深く分析し、論理的に考察することができる。	レポート課題において健康や体力に関する諸課題に対して、知識や情報を分析して考察することができる。	レポート課題において健康や体力に関する諸課題に対して、考察することができる。	レポート課題において健康や体力に関する諸課題に対しての情報や考察が不十分である。	健康や体力に関する諸課題が誤ってレポートされている。またはレポートの未提出。
LO-4	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして積極的な関心を持ち、自分の改善策を具体的にレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、自分の改善策をレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、レポートすることができる。	レポート課題において健康や体力に関する諸課題に対しての情報や考察が不十分である。	健康や体力に関する諸課題が誤ってレポートされている。またはレポートの未提出。
LO-5					

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	健康スポーツとして、生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、より健康に生活できるようになるための運動を行う。ネット型・ゴール型ボールゲームを主に行う。またストレッチや自重トレーニングを実践し心地よさを感じるとともに心と体の調和をとることができるようなプログラムを実践する。ボールゲームにおいては、様々なゲームを楽しみながら技術を向上させるとともに、仲間づくりや自分の身体との対話も楽しめるような力を養う。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、上達する楽しさや体を動かす心地よさ、仲間づくりの大切さを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく人生の一部として取り入れられるようにしたい。								
キーワード	心地よさ 仲間づくり ネット型スポーツ ゴール型スポーツ 身体を整える								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその能力向上に努める。								
LO-3	チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	自分の身体を知り向上させることにより自己肯定感が高まる。ルールを守り仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	健全な友達関係を構築しそのほかの授業においても互いに尊重し合い活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						15			15
LO-2						15			15
LO-3						20			20
LO-4						30			30
LO-5						20			20
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニツッペーパー・レポートの提出及び活動の状況を見て総合的に判断する。LO3.4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。LO4では、授業におけるルールの遵守についても評価する。グループワークを基本として実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 内容 評価 グループ分け 服装 シューズ 着替えなど	
	【予習】体育館の場所 ロッカー 更衣室 など場所を確認すること	45分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する	0分
第2回	バドミントン 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】バドミントンについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べるおくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語やルールについて、理解を深める	0分
第3回	バドミントン 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語やルールについて、理解を深める	0分
第4回	バドミントン ダブルス ゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語、オリンピックについての知識を整理し、理解を深める	0分
第5回	バドミントン チーム対抗戦	
	【予習】バドミントンの用語、チーム対抗戦のため、チーム内でのペアリングと対戦時のオーダーを考えておくこと	0分
	【復習】バドミントンの用語、ルールと様々なゲームの進め方について理解を深める	0分
第6回	テニス 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】テニスについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べておくこと	0分
	【復習】テニスの用語とルールについて、理解を深める	0分
第7回	運動する時の動きの発生と分析について	
	【予習】直ぐにできた動きやなかなかできなかった動きを振り返り、まとめておく	45分
	【復習】動きの分析方法について整理してまとめ、理解を深める	0分
第8回	テニス 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	45分
	【復習】テニスの用語やルールについて、理解を深める	0分
第9回	テニス ダブルス ゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	20分
	【復習】テニスの用語、ルールと様々なゲームの進め方について理解を深める	25分
第10回	身体のコンドیشنチェック ストレッチ ヨガの実践	
	【予習】体力の要素について調べておくこと	0分
	【復習】ストレッチ、ヨガ、体力の要素について理解を深める	0分

第11回	ネット型ボールゲーム バレーボールのアレンジゲームの実践	
	【予習】幅広い年齢層で楽しめるアレンジの方法について、調べておくこと	0分
	【復習】様々なアレンジの方法について理解を深める	0分
第12回	レクリエーションスポーツの実践（集団での動きについて）	
	【予習】初めてペアを組むなど、気持ちの良い人との関わり方について考えておこう。	0分
	【復習】参加者全員が気持ちよく参加する方法について理解を深める	0分
第13回	ゴール型ボールゲーム バasketボール、サッカーのアレンジ方法の実践	
	【予習】ゴールインするまでのプロセスを考えておくこと	0分
	【復習】参加者全員が楽しめるアレンジの方法について理解を深める	0分
第14回	ゴール型のスポーツ、レクリエーションスポーツの実践 熱中症対策のため大幅にプログラムを変更する必要がある	
	【予習】体調管理及び、チーム内での人間関係をよくするように努める	0分
	【復習】参加者全員が楽しめるスポーツの実施方法についての理解を深める	0分
第15回	レクリエーションニュースポーツの実践 熱中症対策のためプログラムを大幅に変更する必要がある	
	【予習】熱中症予防について考え、必要と思われるものを準備する。気温が高くても仲間と楽しめる2つの競技（種目）について用意しておくこと。	0分
	【復習】これからの健康の保持増進に繋げるために、生涯スポーツとして競技スポーツやレクリエーションスポーツとの関わり方を自分なりに整理してまとめる	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	健康の大切さを理解し、日常生活においても規則正しい生活やバランスの取れた食事を行い授業においても非常に活動的である。	健康の大切さを理解し、日常生活において規則正しい生活ができ、授業においても活動的である。	健康の大切さを理解している。授業において仲間の助けで活動ができる。	健康の大切さに置いては理解不足であるが、授業において仲間の助けで活動ができる。	健康の大切さを理解しておらず授業においても集中できないことがある。
LO-2	ボールや道具の操作が非常に優れている。基本的な運動能力が身につけており自分の能力にあった体力向上ができる。	ボールや道具の操作が優れている。基本的な運動能力が身につけており自分の能力にあった体力向上ができる。	ぎこちない動きではあるがボールや道具の操作ができる。基本的な運動能力が身につけようとしている。	基本的な運動能力が不十分であるが、能力向上に努めている。	基本的運動能力が不十分でありその能力を高めようとしなない。
LO-3	チームや個人の能力の課題を見つけその問題解決に努めようとしている。苦手な能力についても前向きに向上に努められる。	個人の能力の課題を見つけその問題解決に努めようとしている。苦手な能力についても前向きに向上に努められる。	チームや個人の能力の課題を見つけることができる。仲間の力を借りてであれば問題解決に努められる。	苦手な能力や課題が見つけれないが、仲間の援助があれば課題解決ができる。	仲間の援助があっても課題解決ができない。
LO-4	自分の健康に関心があり、ルールを守ってその能力を高めようと日常生活から日々努力できる。そのことによりさらに自己肯定感が高められている。	自分の健康に関心があり、ルールを守ってその能力を高めようと努力できる。そのことにより自己肯定感が高められている。	自分の健康に関心があり、ルールを守ることができる。援助があれば能力向上に向けた努力ができる。	自分の健康に関心があるが能力向上に向けた努力ができない。ルールを守ることが難しい。	自分の健康について関心がない。ルールを守ることが難しい。
LO-5	健全な友達関係を構築できる。誰とでもチームを組んで楽しく活動ができる。	健全な友達関係を構築できる。チームを組んで楽しく活動ができる。	比較的健全な友達関係を構築できる。安全な活動ができる。	協調性に欠けるが活動ができる。	協調性にかけ仲間と活動ができない。

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育や幼児教育、児童福祉を学ぶ学生のために作成されたテキストに沿って授業を進める。世界の子どもたちが集まる架空の保育園で、保育実習生が遭遇する、さまざまな場面で使用される英語の表現を、リスニング、会話練習、英文解釈、英作文、マザー・グースの歌を使った聞き取り・発音練習など、多彩な活動を通して学ぶ。 予めプレースメントテストにより1クラスを習熟度別のA, B 2グループに分け、20名前後の少人数グループで授業を実								
学習目標	総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂) ¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者とのコミュニケーションで、伝えたいことを表現することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		12				8			20
LO-2		12				8			20
LO-3		12				8			20
LO-4		12				8			20
LO-5		12				8			20
備考	【成績評価方法】 テキストに基づく小テスト(60%程度)、クイズ(40%程度)[その他、A]とする。 【履修上の注意点等】 毎回テキストと辞書を持参すること。必ず予習した上で出席すること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(1) - 1-1 Judging from Pictures (イラストを見て質問に答える)、1-2 Listening Comprehension (保育の場面の会話:リスニング)	
	【予習】 1-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第2回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(2) - 1-3 Advice for the Internship (実習のためのアドバイス)、1-4 Conversation (保育の場面の会話:会話練習)	
	【予習】 1-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。1-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第3回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(3) - 1-5 Reading and Listening (日誌を読む)、1-6 Good Time with Nursery Rhymes (マザーグースの歌・手遊び歌)	
	【予習】 1-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第4回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(1) - 2-1 Judging from Pictures, 2-2 Listening Comprehension, 2-3 Advice for the Internship	
	【予習】 2-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、2-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第5回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 2-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、2-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第6回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (1) - 3-1 Judging from Pictures, 3-2 Listening Comprehension, 3-3 Advice for the Internship	
	【予習】 3-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、3-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第7回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 3-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、3-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、中間試験に向けて、教科書 Chapter 1～3 の総復習を行う。	15分
第8回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(1) - 4-1 Judging from Pictures	
	【予習】 4-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第9回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(2) - 4-2 Listening Comprehension, 4-3 Advice for the Internship, 4-4 Conversation	
	【予習】 4-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、4-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第10回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(3) - 4-5 Reading and Listening, 4-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 4-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分

第11回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(1) - 5-1 Judging from Pictures, 5-2 Listening Comprehension, 5-3 Advice for the Internship	
	【予習】 5-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、5-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第12回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(2) - 5-4 Conversation, 5-5 Reading and Listening, 5-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 5-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、5-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第13回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(1) - 6-1 Judging from Pictures, 6-2 Listening Comprehension	
	【予習】 6-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第14回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(2) - 6-3 Advice for the Internship, 6-4 Conversation	
	【予習】 6-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、6-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第15回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(3) - 6-5 Reading and Listening, 6-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 6-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	30分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現を十分に習得している。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現を習得している。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現をある程度習得している。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現をあまり習得していない。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現を習得していない。
LO-2	短くて易しい英語の会話や文章をよく理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章をある程度理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章をあまり理解できない。	短くて易しい英語の会話や文章を理解できない。
LO-3	簡単な英語の問いに自由自在に答えることができる。	簡単な英語の問いに答えることができる。	簡単な英語の問いにある程度答えることができる。	簡単な英語の問いにあまり答えることができない。	簡単な英語の問いに答えることができない。
LO-4	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現に強い関心を持つことができる。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現に関心を持つことができる。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現にある程度関心を持つことができる。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現にあまり関心を持つことができない。	保育・幼児教育の分野で使われる語彙や表現に関心を持つことができない。
LO-5	他者とのコミュニケーションで、伝えたいことを自由自在に表現できる。	他者とのコミュニケーションで、伝えたいことを表現できる。	他者とのコミュニケーションで、伝えたいことをある程度表現できる。	他者とのコミュニケーションで、伝えたいことをあまり表現することができない。	他者とのコミュニケーションで、伝えたいことを表現できない。

授業科目名	基礎演習			科目コード	C551-10				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な基礎的な知識や技能等について指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	教育実習、保育実習指導					
関連科目	自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	幼児教育学を学ぶために必要な力を、話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの観点からとりあげ、その習得を目指す。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びに必要な表現・コミュニケーションに関わる技能を身につける。 ・ 課題解決のための基本的な方法技術を身につける。 								
キーワード	学び スタディースキル 表現 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	自身の考えをまとめ、他者に伝えるコミュニケーション能力を獲得できる。								
LO-3	保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。								
LO-4	文献、さらに他者と対話し、自身の考えを捉え直すことができる。								
LO-5	班別の協議、発表、作業において自らを表現し、他者との協働ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				20	60	20			100
LO-1									
LO-2				20					20
LO-3					30				30
LO-4					30				30
LO-5						20			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他Aはミニツツペーパーによる。 ・ 本演習の担当教員を含めた幼児教育学科の教員の指導によるゼミ(プレゼンテーション)を複数回おこなう。 ・ 5月頃に野鳥観察を実施する。 ・ レポート等に剽窃が確認できる場合は単位を不可とする。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを通読のこと。	10分
	【復習】「学ぶ」とはということかについてまとめておく。	20分
第2回	聴くことと話すこと	
	【予習】配布資料を通読のこと。	10分
	【復習】自己紹介の内容を考えておく。	20分
第3回	インタビュー形式による聴き方と話し方	
	【予習】自己紹介の内容を考えておく。	20分
	【復習】感想をまとめておく。	20分
第4回	野鳥観察の日の事前計画 特別講義「読み聞かせ絵本の理論と選び方、実践」の 事前計画	
	【予習】野鳥観察にあたって予習しておく	20分
	【復習】事前計画を基に準備を進める	30分
第5回	野鳥観察の日（5月13日）	
	【予習】配布資料を通読のこと。	20分
	【復習】野鳥観察のまとめ	20分
第6回	特別講義「読み聞かせ絵本の理論と選び方、実践」	
	【予習】第1回ゼミに向けて、自分なりに絵本選びを進める	20分
	【復習】受講した感想をまとめる	20分
第7回	パワーポイントの作成	
	【予習】パワーポイントで発表する絵本を選んでおく。	20分
	【復習】感想をまとめておく。	30分
第8回	パワーポイントの作成	
	【予習】絵本紹介に用いる絵本の特徴を捉える。	20分
	【復習】絵本紹介ゲームに使用するレジユメを作成のこと。	20分
第9回	第1回ゼミ	
	【予習】自身の興味のある絵本の紹介を考えておく。	30分
	【復習】絵本紹介を終えた感想をまとめる。	20分
第10回	文献の調べ方	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】レジユメを作成のこと。	20分

第11回	文献の調べ方	
	【予習】自身の興味のあるテーマを考えておく。	10分
	【復習】興味ある本を選んでおく。	30分
第12回	ゼミ発表会の準備	
	【予習】レポート作成の準備をする。	10分
	【復習】レポートを作成する。	30分
第13回	ゼミ発表会の準備	
	【予習】レポートを作成する。	10分
	【復習】レポート発表会に用いるパワーポイント資料を作成のこと。	30分
第14回	ゼミ発表会の準備	
	【予習】レポート発表の仕方を考える。	30分
	【復習】レポート発表会に向けた準備をする。	30分
第15回	第1回ゼミ発表会	
	【予習】レポート発表の練習をしておく。	60分
	【復習】発表会のまとめをする。	35分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2	自身の考えをまとめ、他者に伝えるコミュニケーション能力を獲得できた。	自身の考えをまとめることができ、他者に伝えるコミュニケーション能力を獲得しようとした試みることができた。	自身の考えをまとめることができた。	自身の考えをまとめようと試みることができた。	自身の考えをまとめようとするのが困難であった。
LO-3	保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができた。	保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現しようとした試みることができた。	保育に関わる課題を論理的にとらえることができた。	保育に関わる課題を論理的にとらえようと試みることができた。	保育に関わる課題を論理的にとらえようとするのが困難であった。
LO-4	文献、さらに他者と対話し、自身の考えを捉え直すことができた。	文献、さらに他者と対話し、自身の考えを捉え直すよう試みることができた。	文献、さらに他者と対話することができた。	文献、さらに他者と対話しようとした試みることができた。	文献、さらに他者と対話しようとするのが困難であった。
LO-5	班別の協議、発表、作業において自らを表現し、他者との協働ができた。	班別の協議、発表、作業において自らを表現し、他者との協働を試みることができた。	班別の協議、発表、作業において自らを表現することができた。	班別の協議、発表、作業において自らを表現しようとした試みることができた。	班別の協議、発表、作業において自らを表現しようとするのが困難であった。

授業科目名	国語表現			科目コード	C551-20				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	奥野 美友紀					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高等学校程度の表現力		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士(), 上級情報処理士() ビジネス実務士(), 情報処理士()								
授業の概要	他者と円滑なコミュニケーションを図るためには、適切な表現のしかたを身につけていることが重要である。社会人として活躍するための基礎となる表現法を学ぶ。 演習(実践)を基本とし、随時、講義やグループワークを取り入れながら進める。言葉を客観的に捉え、用いることの重要性を実践的に身につけたい。書くこと・読むこと・考えること・話すことに対し、積極的な取り組みを期待する。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・思いつきではなく、論理的で説得力を持った文章作成を目指す。 ・言葉が持つ力とその役割を理解し、言葉に対する豊かな感覚を養う。 ・社会事象への関心を持つとともに、日本語の表記の基礎となる知識を身につけ、社会人に必要とされる表現法を学ぶ。 ・自ら考え、客観的な視点をもって判断する力を養う。 								
キーワード	言葉、表現、思考力、調査、リテラシー、レポート、自己PR								
テキスト・ 参考書等	橋本修・安部朋世・福嶋健伸編著『大学生のための日本語トレーニング スキルアップ編』(三省堂、2008) この他、必要に応じて随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	日本語検定レベルの語彙力・漢字力を身につけている。								
LO-2	わかりやすく正確な文章を書いたり、話したりすることができる。								
LO-3	新聞や書物を読む習慣を身につけている。また、積極的な情報収集を通して、客観的・論理的な思考を行うことができる。								
LO-4	何事にも前向きで積極的にかかわり、努力を惜しまず学ぼうとする態度を身につけている。								
LO-5	自分の考えをもったうえで他者を理解しようとする姿勢があり、共調・協働して社会生活を営むための人間性を備えている。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	30	40		10			100
LO-1		20	10	10					40
LO-2			10	10					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		5			15
LO-5						5			5
備考	この授業では、グループワーク・ディスカッション・PBL(問題解決型授業)等のアクティブラーニングを取り入れる。 「レポート」には、課題プリント等提出物を含む。Aは、グループワークをはじめとする授業への参加態度。 課題の提出は、授業だけでなく授業時間外の丁寧な取り組みを前提とします。また、さまざまなものごとに興味を持ち、よく考えることを大切にしてください。受講生の皆さんが主役の授業です。自発的かつ積極的な参加態度を期待します。質問								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション この授業の概要と目的について。アンケート記入。 自己紹介。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を理解する。 自分の言語生活を振り返る。	30分
	【復習】授業の全体像の確認。	30分
第2回	日本語の表記の基礎 文章作成の基礎となるルール（仮名遣い、表記法、句読点の打ち方等）について、ふりかえるとともに理解を深める。 以降、日本語検定受験レベルを想定した課題学習、および、確認のための小テストを随時行う。	
	【予習】教科書に目を通しておく。	60分
	【復習】日本語表記のルールについて再確認し、理解できていなかった箇所を確認しておく。 課題プリントを仕上げる。	60分
第3回	敬語の基礎 敬語の分類とそれぞれの性格・はたらきについて学ぶ。	
	【予習】「日常生活の中で敬語をつかうことはあるか」「どのようなときに、どのような相手に対して敬語をつかうか」「なぜ敬語をつかうのか」など、敬語と自分の関わりについてまとめておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について、なぜそうなるのかを理解したうえで確認しておく。 課題プリントを仕上げる。	60分
第4回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。	90分
第5回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。	60分
第6回	メールの書き方 社会人としてふさわしいメール作成のルールを習得する。 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けるとの重要性について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	60分
第7回	メールの書き方 メール文の作成を通して、わかりやすく適切な表現とその工夫について学ぶ。	
	【予習】配布資料を読み、課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について確認しておく。	30分
第8回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けるとの重要性について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえっておく。	30分
第9回	話す技術・聴く技術 さまざまな場面を想定した役割演技を通し、互いに理解するための技法を身につける。 適切なことば（内容・表現）を選んで、他者に伝える練習をする。	
	【予習】配布資料を読み、内容を整理する。 課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】自分の傾向について理解し、課題プリントをまとめる。	30分
第10回	論理的に考える 社会生活の基礎となる、論理的な思考のしかたについて学ぶ。	
	【予習】配布資料を読み、課題に取り組んでおく。	60分
	【復習】課題プリントを完成させる。	60分

第11回	論理的に考える 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味し、検証することに習熟する。	
	【予習】課題プリントを完成させる。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第12回	文章作成の基礎 身近なテーマを例に、いままで学習した内容をふまえて1,000字程度の文章を作成する。 また、相互に添削・点検を行う。	
	【予習】テーマに沿った文章を作成する。	120分
	【復習】作成した文章について、相互批評をもとに再度推敲し、改稿のうえ完成させる。	90分
第13回	改稿した文章の再チェック 自分を知る ワークシートを通して自分を客観的に捉える。自分について知り、理解することで、社会人としてのありようについて考えるきっかけとする。	
	【予習】自分自身についてまとめておく。	60分
	【復習】ワークシートについて、具体的かつ過不足なく完成させる。	60分
第14回	レポートの書き方 レポート作成における基本的ルールを学ぶとともに、論理の展開のしかたや効果的な文章の組み立て方について学ぶ。	
	【予習】配布プリントを熟読し、課題を完成させておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第15回	レポートの書き方 まとめ	
	【予習】学期末レポートの作成を視野に入れて、情報収集を行う。	120分
	【復習】全15回で学んだ内容をふまえ、学期末レポート作成のための基礎とする。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	日本語検定受験レベルの漢字の読み・書き・熟語等の知識が完璧である。	日本語検定受験レベルの漢字の読み・書き・熟語等の知識がよく備わっている。	日本語検定受験レベルの漢字の読み・書き・熟語等の知識がほぼ備わっている	日本語検定受験レベルの漢字の読み・書き・熟語等の知識が備わっている	日本語検定受験レベルの漢字の読み・書き・熟語等の知識が備わっていない。
LO-2	小論文で、わかりやすく適切で、相手に分かりやすい文章がよく書ける。	小論文で、わかりやすく適切で、相手に分かりやすい文章が書ける。	小論文で、わかりやすく適切で、相手に分かりやすい文章がある程度書ける。	小論文で、わかりやすく適切で、相手に分かりやすい文章が少し書ける。	小論文で、わかりやすく適切で、相手に分かりやすい文章を書くことができない。
LO-3	新聞や書物を通して得た情報を的確に整理分析し、十分に自らの判断に活かすことができる。	新聞や書物を通して得た情報を整理分析し、自らの判断に活かすことができる。	新聞や書物を通して得た情報を整理分析し、自らの判断に活かすことができる程度できる。	新聞や書物を通して得た情報を整理分析し、自らの判断に活かすことが多少できる。	新聞や書物を通して得た情報を整理分析し、自らの判断に活かすことができない。
LO-4	物事に対し前向きな姿勢で積極的にかかわり、常に努力を惜しまず学ぶ態度を十分に身につけている。	物事に対し前向きな姿勢で積極的にかかわり、常に努力を惜しまず学ぶ態度を身につけている。	物事に対し前向きな姿勢で積極的にかかわり、常に努力を惜しまず学ぶ態度をある程度身につけている。	物事に対し前向きな姿勢で積極的にかかわり、常に努力を惜しまず学ぶ態度を少しは身につけている。	物事に対し前向きな姿勢ではなく、消極的で、努力もせず、学ぶ態度も全く身につけていない。
LO-5	他者を尊重し、協働して社会を形成していこうとする人間性にきわめて富んでいる。	他者を尊重し、協働して社会を形成していこうとする人間性に富んでいる。	他者を尊重し、協働して社会を形成していこうとする人間性を持っている。	他者を尊重し、協働して社会を形成していこうとする人間性を多少持っている。	他者を尊重し、協働して社会を形成していこうとする人間性に欠ける。

授業科目名	コミュニケーションと情報				科目コード	C551-30			
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】タッチタイピングの練習 及第点「単語練習」の最高点×0.6で評価する。	90分
第2回	教材ファイルのダウンロードと展開 1382_office_kiso_moral_ver2019.zip Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第3回	Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習7	90分
第4回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第5回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第6回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(3) 練習問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習8	90分
第7回	Section3 Step2 Lesson1/2 表を作成しましょう/印刷しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習9	90分
第8回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習13 練習14	90分
第9回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習16	90分
第10回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習17 練習18	90分

第11回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習19 練習20	90分
第12回	Section4 Step2 Lesson1 スライドを作成しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習22	90分
第13回	Section4 Step2 Lesson2 効果をつけましょう Section4 Step3 発表しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習23	90分
第14回	Section5 Step1 セキュリティを高めましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習25 練習26 練習27	90分
第15回	Section5 Step1 情報モラルを学びましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】【復習】本科目の成績について タッチタイピングの成績「単語練習」の最高点×0.6で評価する Word 練習7 「クリスマスコンサート」	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が十分に身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がおおむね身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がある程度身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につけていない
LO-2	パソコンにより、極めて効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、おおむね効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ある程度効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ドキュメント・スプレッドシート作成、プレゼンテーションができない
LO-3					
LO-4					
LO-5					